



立面図

数量集計表
(a) 欠損

巾が100以下の場合は長さ、
巾が100を超える場合は面積とする。

方位	No	大きさ	欠損深さ (mm)	欠損長さ (m)	欠損面積 (㎡)	備考
		W×L (mm)				
東						
西						
南	101	100×200	30	0.2		
	301	200×120			0.03	
	302	100×150		0.15		
	401	300×120			0.036	
	501	100×200		0.2		
北						
1階のみの計			-	0.2	-	

数量集計表
(d) 笠木浮き

方位	No	長さ (m)	備考
東			
西			
南	101	36.11	
北			
1階のみの計		36.11	

数量集計表
(e) 鉄筋爆裂(欠損)

巾が100以下の場合は長さ、
巾が100を超える場合は面積とする。

方位	No	大きさ	欠損深さ (mm)	欠損長さ (m)	欠損面積 (㎡)	備考
		W×L (mm)				
東	201	100×200		0.2		
	201	100×200		0.2		
西	201	50×50		0.05		
	301	50×50		0.05		
	401	50×50		0.05		
南	201	100×150		0.15		
	301	100×300		0.3		
北	101	50×30	30	0.03		
	201	50×50		0.05		
1階のみの計			-	0.03		

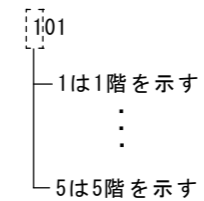
数量集計表
(f) 躯体クラック

方位	No	0.2mm以上 1.0mm未満 長さ(m)	1.0mm以上 長さ(m)	備考
東	101	0.2		
西				
南				
北	101	0.6		
	102	0.65		
	103	0.4		
	104	0.5		
	105	0.7		
	106	0.4		
	107	0.4		
	108	0.4		
	109	0.4		
	110	0.3		
	111	0.6		
	112	0.8		
	113	0.6		
	114	0.5		
	115	0.4		
	116	0.4		
	117	0.8		
	118	0.8		
	119	0.8		
1階のみの計		11.45		

数量集計表
(f) 躯体クラック

方位	No	0.2mm以上 1.0mm未満 長さ(m)	1.0mm以上 長さ(m)	備考
北	201	0.7		
	202	0.7		
	301	0.4		
	401	0.4		
	402	0.3		
	403	0.5		
	404	0.5		
	405	0.3		
	406	0.4		
	407	0.2		
	408	0.6		
	409	0.7		
	410	0.4		
	411	0.8		
	412	0.4		
	413	0.8		
	414	0.9		
	415	0.8		
416	0.8			
417	0.2			
418	0.2			
1階のみの計		-		

記号の説明



改修か所は別図立面図参照



階段

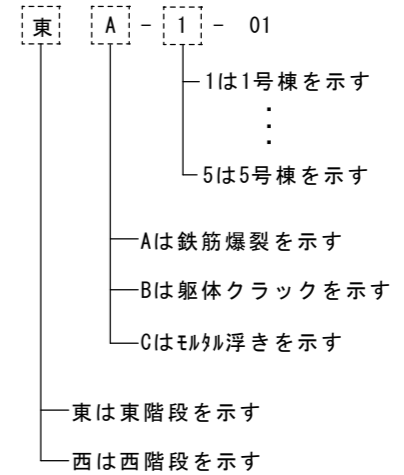
数量集計表
(B) 躯体クラック

棟	No	0.2mm以上 1.0mm未満 長さ(m)	1.0mm以上 長さ(m)	備考
4	東B-4-01	3.0		
	東B-4-02	2.5		
計		5.5	-	


数量集計表
(C) モルタル浮き

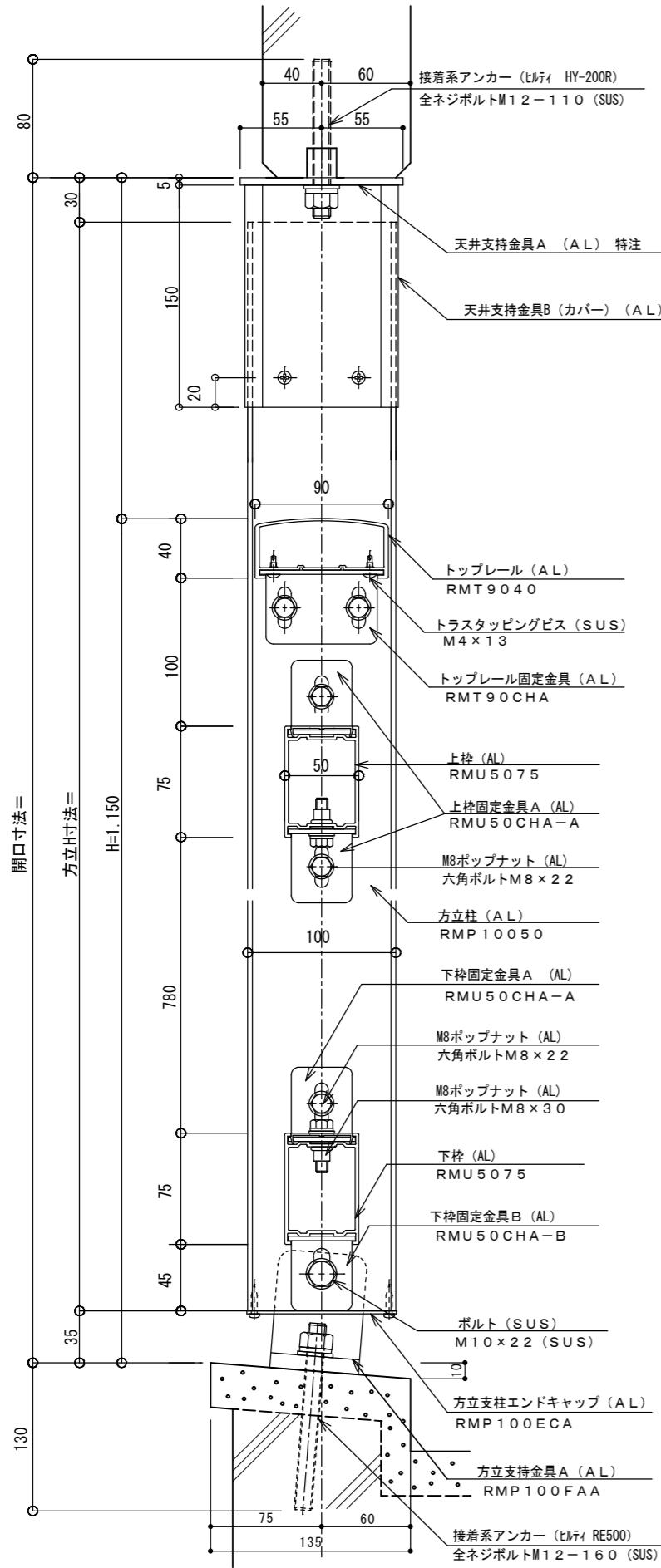
棟	No	大きさ W×H (mm)	浮き面積 (㎡)	0.25㎡未満 (か所)		0.25㎡以上 (㎡)		狭幅部分 (幅200以下) (m)	備考
				一般部	見上げ部	一般部	見上げ部		
4	東C-4-01	150×300						0.3	
	東C-4-02	150×2020						2.02	
	西C-4-03	150×400						0.4	
	西C-4-04	150×300						0.3	
計			-	-	-	-	-	3.02	

記号の説明

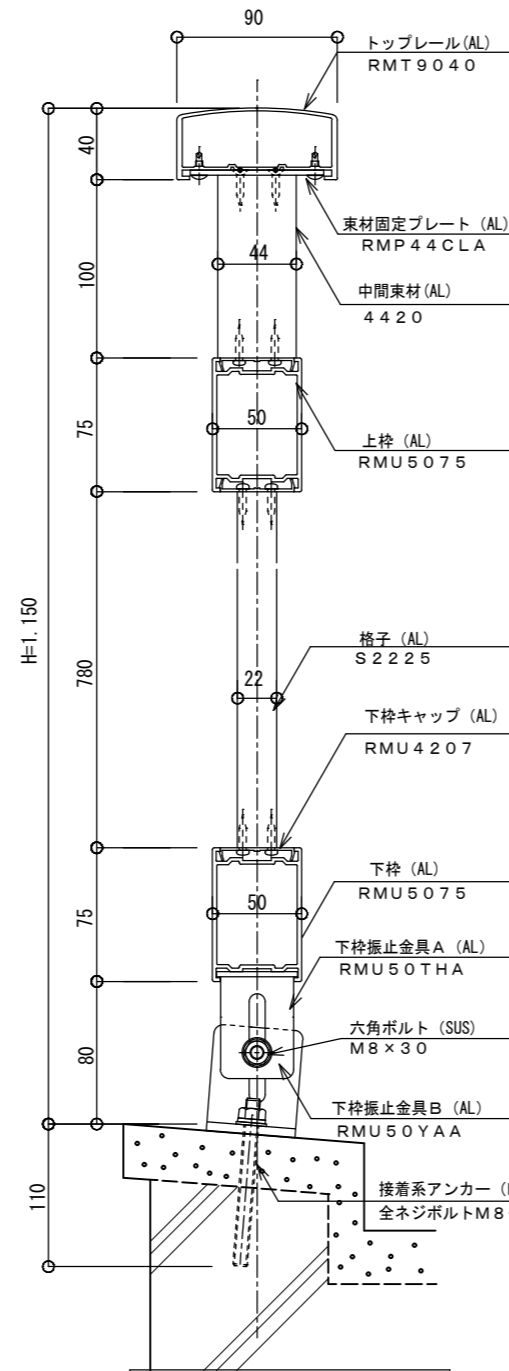


改修か所は別図階段展開図参照

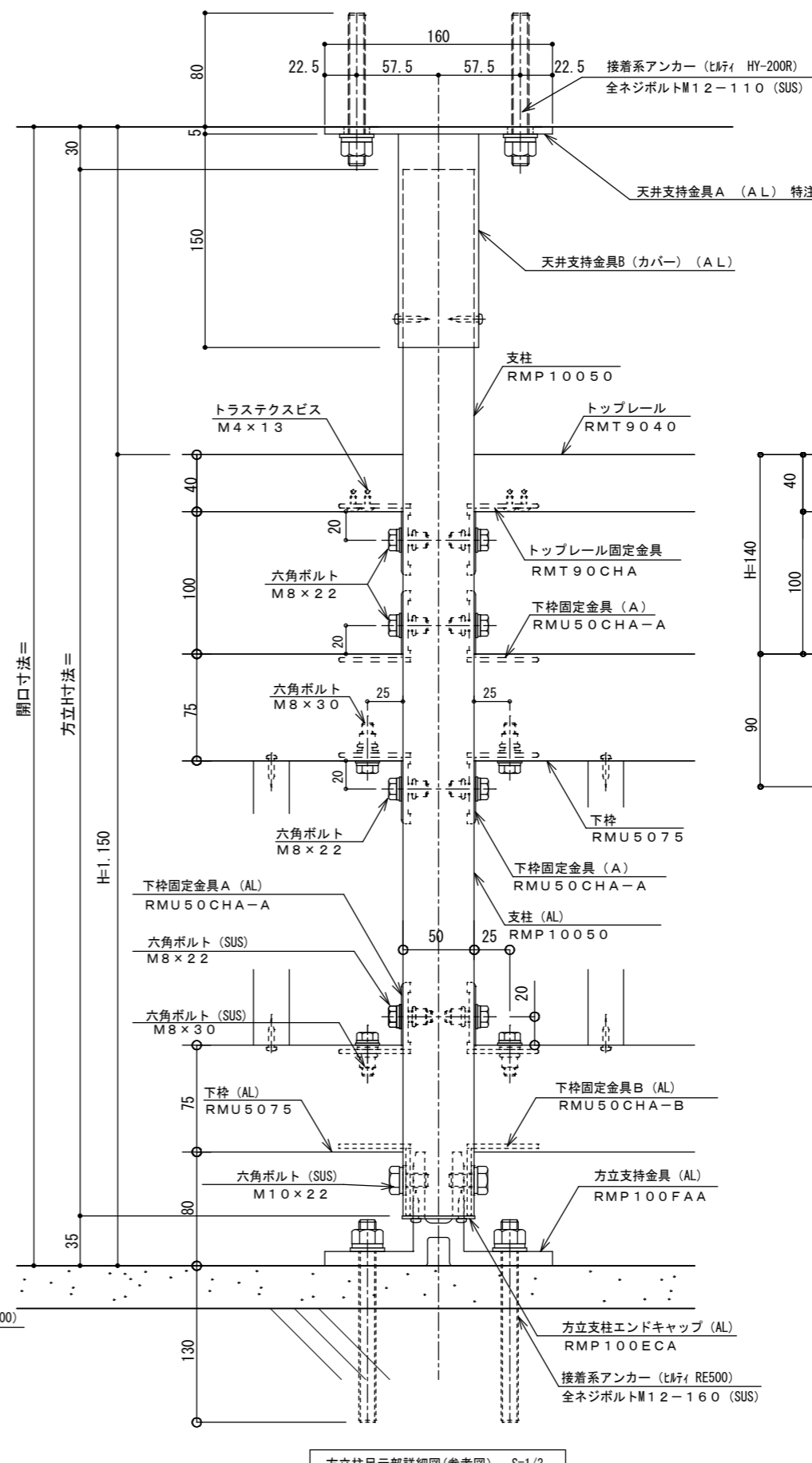
徳島県土整備部住宅課		 株式会社 上設計 <small>管理建築士 一級建築士 大臣登録 第232263号 上柿 重信</small> <small>〒-779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7</small>	印	工事名	R1住宅 金沢団地 徳・金沢1 4号棟等外壁改修他工事	図面番号	B-21
				図名	数量集計表-2	縮尺	-



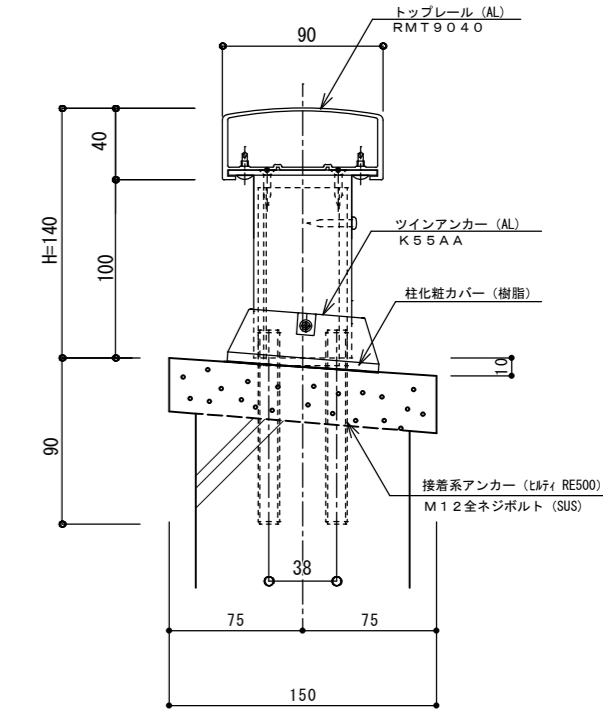
方立柱支持部断面図(参考図) S=1/3



中間支持部断面図(参考図) S=1/3

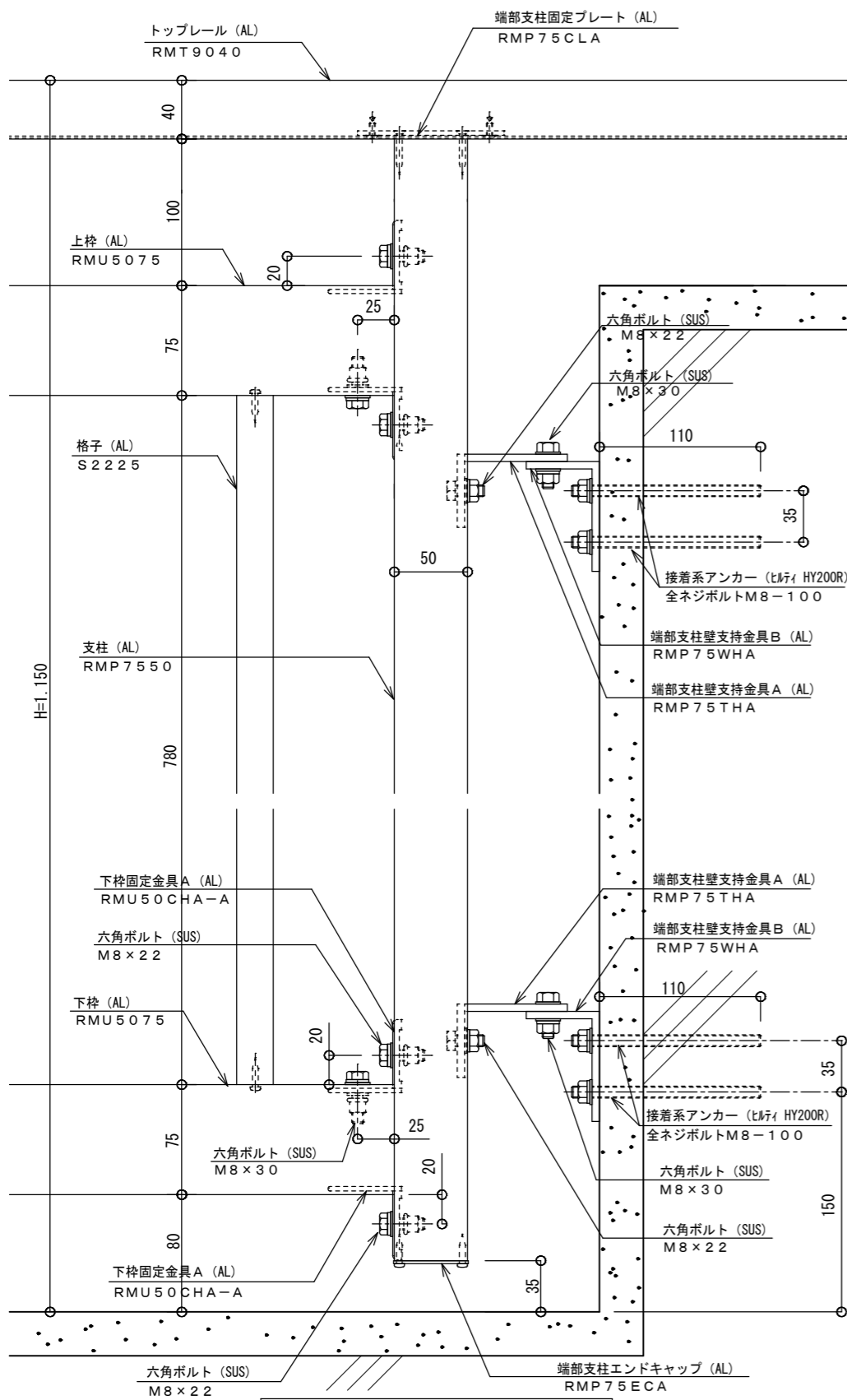


方立柱足元部詳細図(参考図) S=1/3

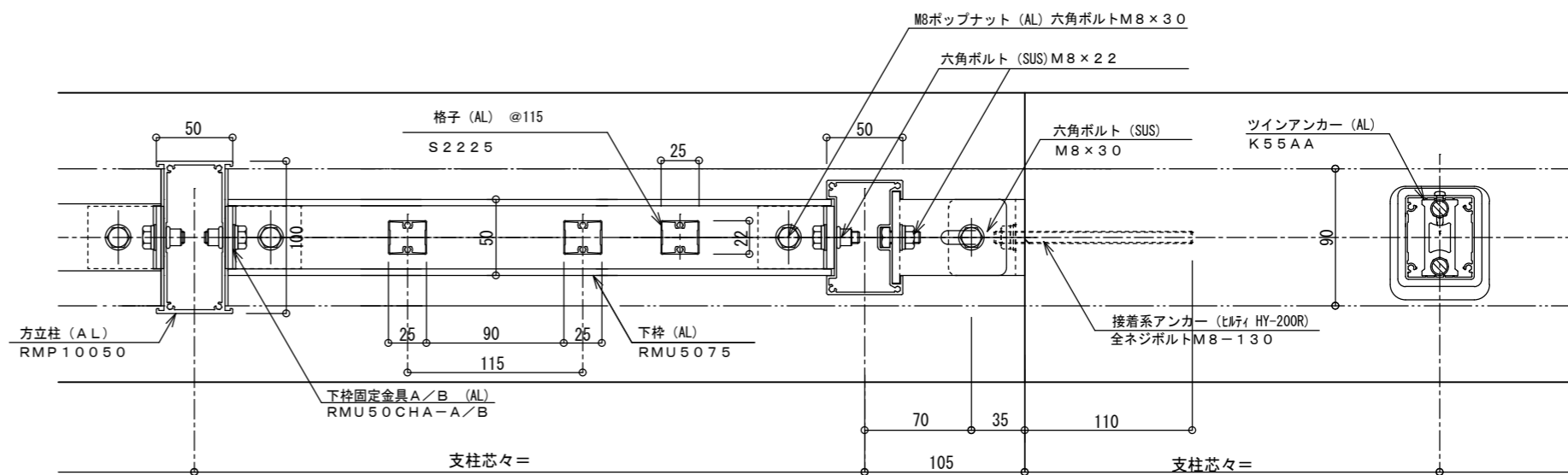
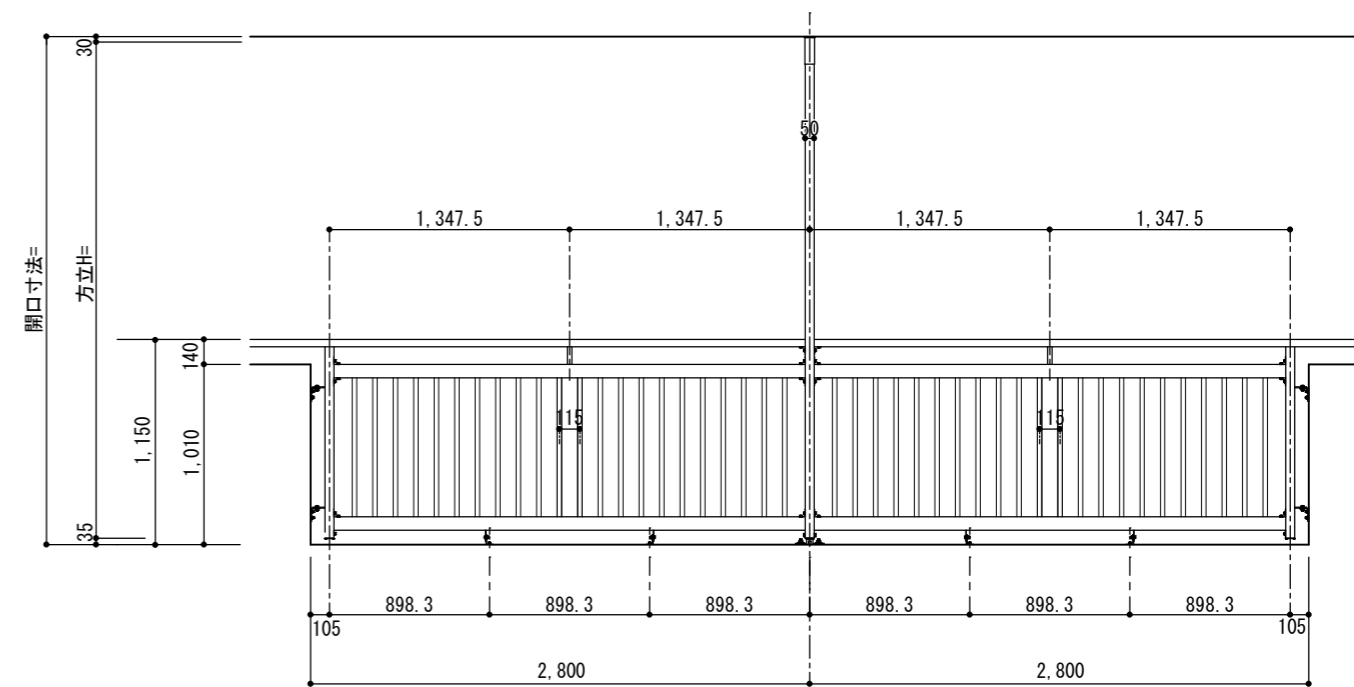


トップレール 断面詳細図(参考図) S=1/3

徳島県県土整備部住宅課	株式会社 上設計 管理建築士 一級建築士 大臣登録 第232263号 上柿 重信 〒-779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966	印	工事名	R1住宅 金沢団地 徳・金沢1 4号棟等外壁改修他工事	図面番号	B-22
		図名	バルコニー手摺詳細図-1	縮尺	1/3	作図年月

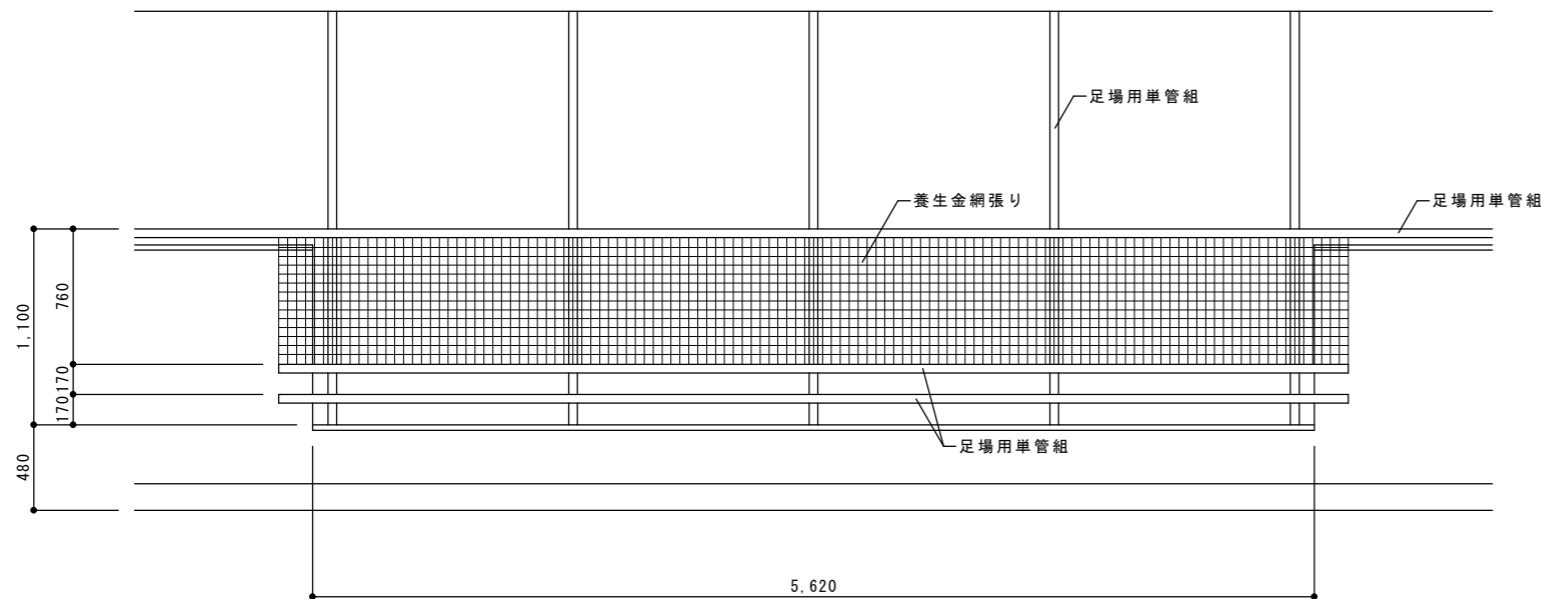


端部支柱部 (参考図) S=1/3

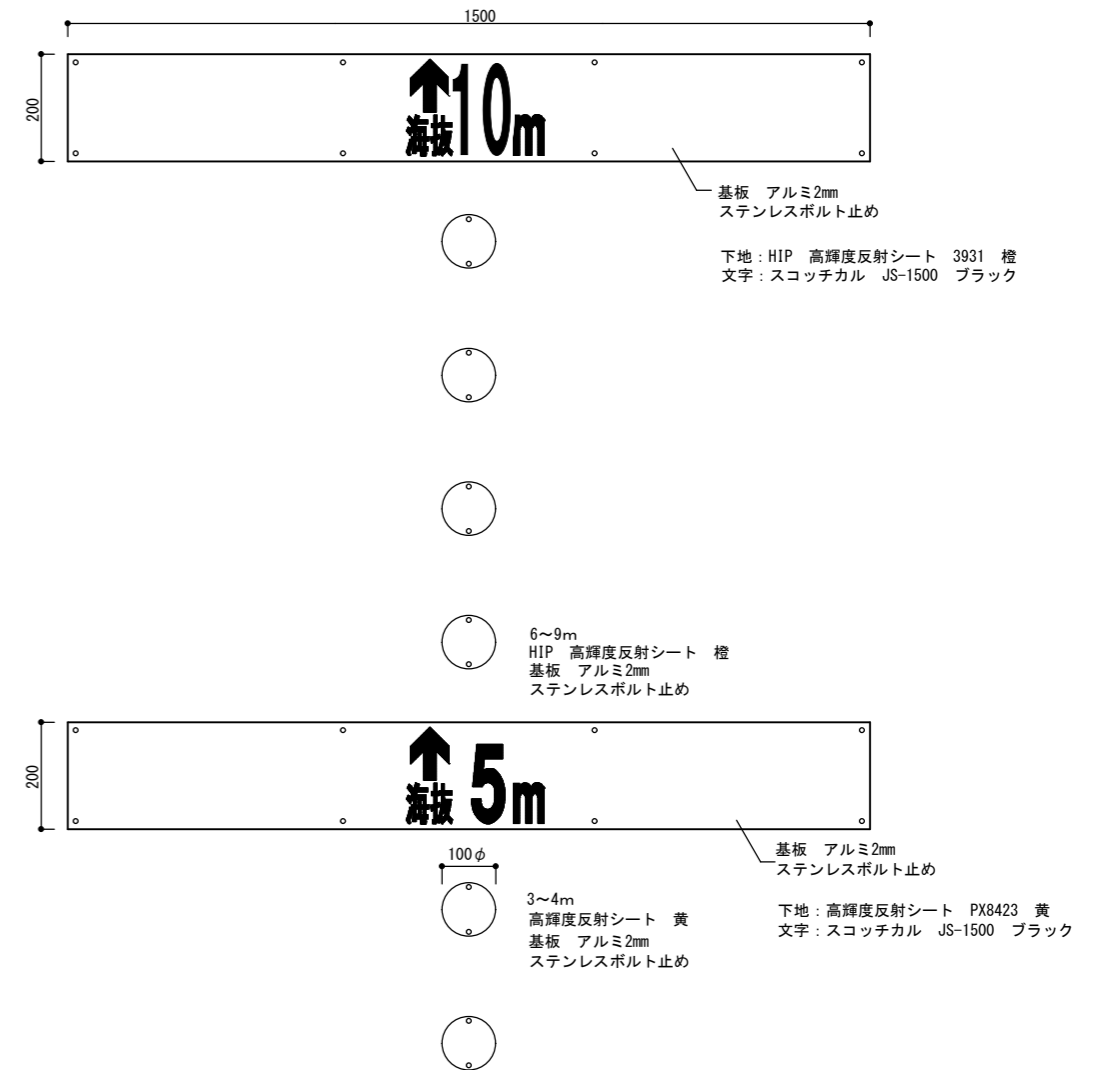


平面図 (参考図) S=1/3

徳島県県土整備部住宅課	株式会社 上設計 管理建築士 一級建築士 大臣登録 第232263号 上柿 重信 〒-779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966	工事名	R1住宅 金沢団地 徳・金沢1 4号棟等外壁改修他工事		図面番号	B-23
		図名	バルコニー手摺詳細図-2	縮尺	1/3 1/30	作図年月



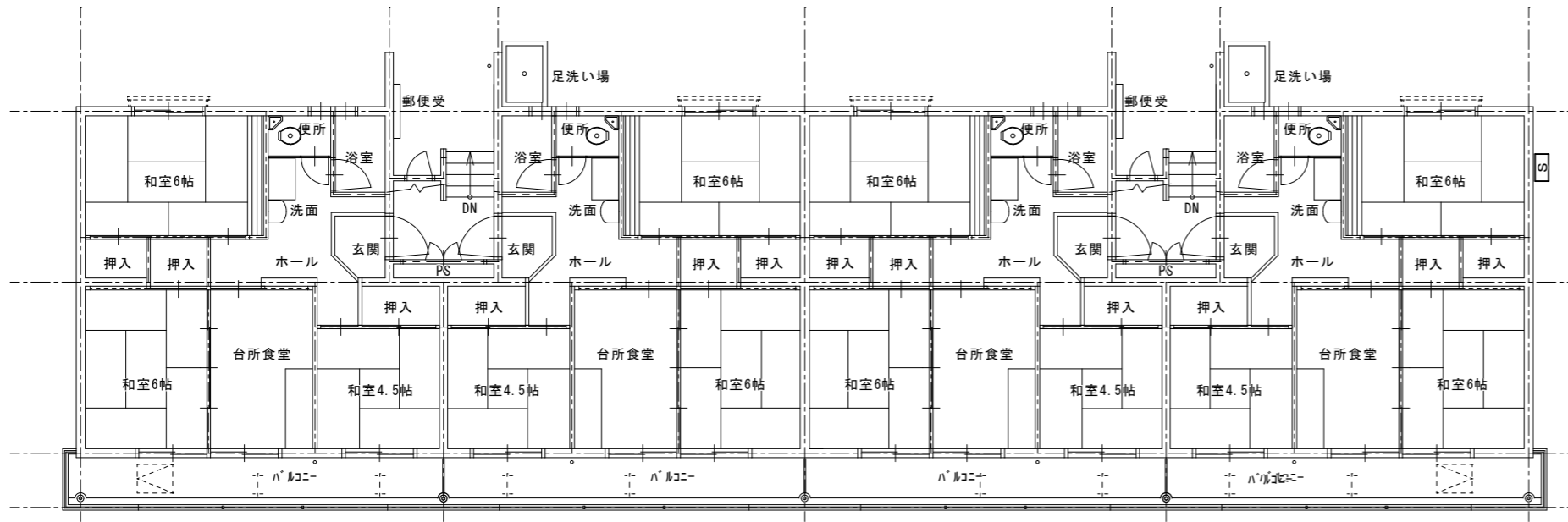
撤去期間仮手摺詳細図(参考図) S=1/30



海拔表示板 正面図 1/10 (2箇所設置 位置は現場指示)

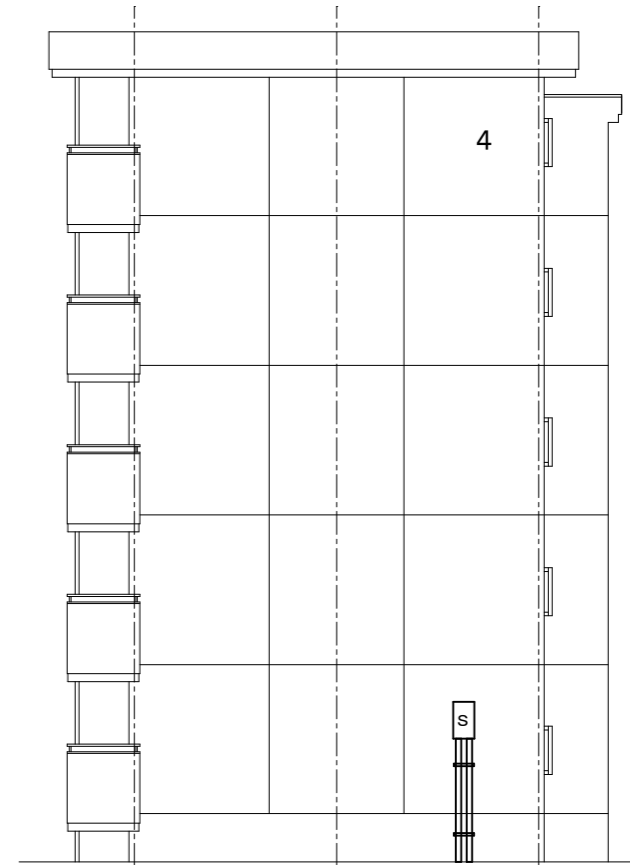
※設置高さは測量法に規定する有資格者により現場測量のうえ位置決めを行う。

徳島県土木整備部住宅課	株式会社 上設計 管理建築士 一級建築士 大臣登録 第232263号 上柿 重信 〒-779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966	印	工事名	R1住宅 金沢団地 徳・金沢1 4号棟等外壁改修他工事	図面番号	B-24
		図名	撤去期間仮手摺詳細図 海拔表示板詳細図	縮尺	1/20 1/10	作図年月



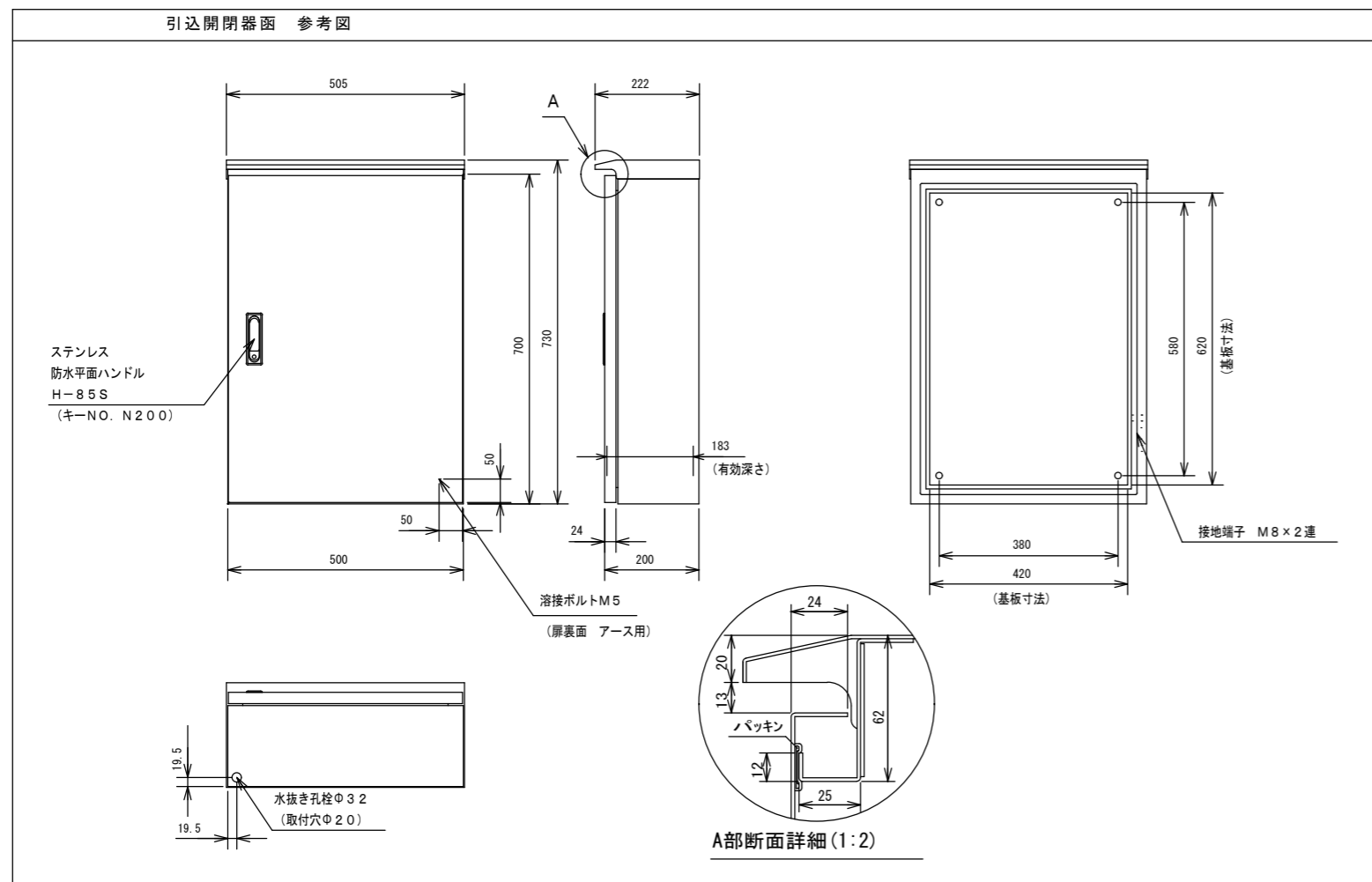
1階平面図 S=1/100

凡例
S 引込開閉器函

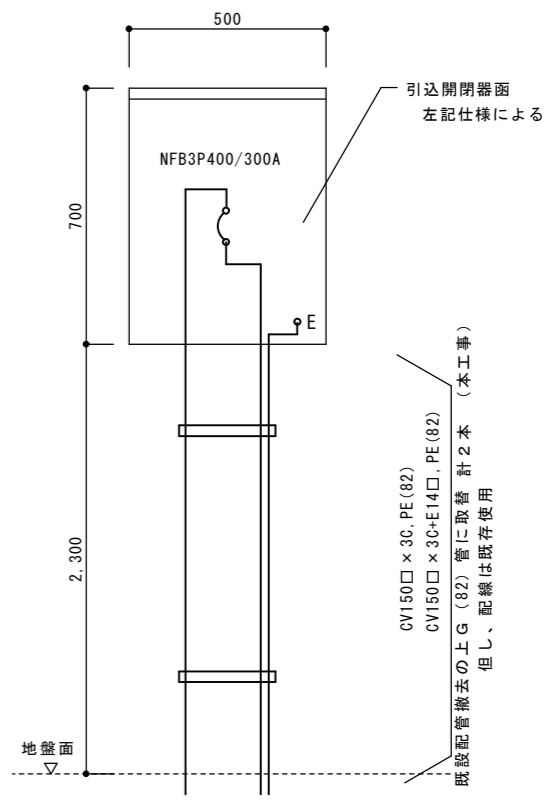


東面立面図 S=1/100

凡例
S 引込開閉器函



引込開閉器函 仕様
 経年劣化により、既存撤去処分、新品に取替
 (但し、配線及びブレーカーは、既存流用する)
 屋根付屋外防水型 分電盤錠 (鍵付)
 形状: W500×H700×D200
 SUS製 既製品 メーカー標準色
 ※絶縁測定実施の上、規定の絶縁がなければ係員と協議のこと



引込開閉器函 詳細図 (正面図)

注記
 新設G管の仕様は、厚鋼電線管 (G) 溶融垂鉛めつき300g/m2以上

徳島県土整備部住宅課	株式会社 上設計 管理建築士 一級建築士 大臣登録 第232263号 上柿 重信 〒-779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966	工事名	R1住宅 金沢団地 徳・金沢1 4号棟等外壁改修他工事	図面番号	B-25
		図名	引込開閉器函 詳細図	縮尺	1/100 1/50

I. 工事概要

Table with 2 columns: Item (1-6), Details (R1住宅, 徳島市金沢1丁目, etc.)

II. 建築工事仕様書

1章 一般共通事項

Main specification table with 2 columns: Item (1. 適用基準等), Remarks (Detailed construction standards and safety requirements)

Table with 2 columns: Item (2. 工事関係図書, 3. 安全衛生管理, 4. 工事現場管理), Remarks (Requirements for drawings, safety, and site management)

Table with 2 columns: Item (5. 施工調査, 6. 材料・製品等), Remarks (Requirements for site investigation and materials)

項目	特記事項
	<p>◎県産木材の使用</p> <p>(1) 受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。</p> <p>(2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。 ① 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材 ② ①以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材</p> <p>(3) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>(4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証」証明書の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>(5) 県内の森林から直接調達するなど、前項により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。</p> <p>◎製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む。)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。 また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法的な木材であることの証明は不要とする。</p> <p>◎改標仕に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。</p> <p>◎県内産資材の使用</p> <p>(1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。なお、WTO対象工事については、県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。</p> <p>(2) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</p> <p>(3) 受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「建設資材使用実績報告書」を監督員に提出しなければならない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>県内産資材(次のいずれかに該当するもの)</p> <p>① 材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品</p> <p>② 徳島県内の工場で加工、製造された製品</p> <p>注1 部材、部品が県外製品であっても、県内の工場で加工、製造した製品(二次製品)であれば県内産資材として取り扱う。</p> <p>注2 県内企業が県外に立地した工場(自社工場)で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。</p> <p>注3 公共建築工事標準仕様書そのた関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。</p> </div> <p>◎県内産再生砕石の原則使用</p> <p>受注者は、再生砕石を使用する場合、県内の再資源化施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第15条第1項に基づく許可を有する施設(同法第15条の2第1項に基づく変更の許可において同じ。))で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。</p> <p>◎受注者は、徳島県内に主たる営業所を有する者から調達した建材等(県内企業調達建材等)を優先して使用するよう努めなければならない。なお、県内企業調達建材等以外を使用する場合は、県内企業調達建材等を使用しない理由を記載した理由書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>◎本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。</p> <p>(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(2) 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(4) 塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>(5) (1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>◎工事現場監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時、又は住宅課へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。</p> <p>◎施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること、不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること、手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。</p>
7. 化学物質を発散する建築材料等	
8. 施工	

項目	特記事項																																																																																																																																																																		
	<p>◎他工事と取り合い区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>建築工事</th> <th>電気工事</th> <th>管工事</th> <th>空調工事</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>床、壁、床スリッパ入れ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>同上穴埋補修</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>スリッパ開口補強(鉄筋)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>同上(リンレン等)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>床、天井点検口</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>設備機器天井開口墨出</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>同上切込み及び開口補強</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>衛生器具取付のブロック壁 空洞部分のモルタル埋め</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>縦樋(GLまで)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>壁、便器等の箱入れ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr> <tr><td>同上補強</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>給排水ガラリ取り付け</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>空調機器類の基礎工事</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>◎技能士の適用については、次の技能検定作業(以下、「作業」という。)のうち各工事に適用する作業を指定するものとする。 技能士は、職業能力開発促進法による一級技能士又は二級技能士の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督員に提出すること。 技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。技能士は、氏名、検定職種、技能士番号等県が指定した内容を記載した名札等により、資格を明示するものとする。 なお、指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。</p> <p>○印 …… 適用作業</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>仮設</td><td>とび</td><td>◎とび作業</td></tr> <tr><td>鉄筋</td><td>鉄筋施工</td><td>・鉄筋組立て作業</td></tr> <tr><td>コンクリート</td><td>コンクリート圧送施工</td><td>・コンクリート圧送工事作業</td></tr> <tr><td>型枠</td><td>型枠施工</td><td>・型枠工事作業</td></tr> <tr><td>鉄骨</td><td>鉄工</td><td>・構造物鉄工作業</td></tr> <tr><td>防水</td><td>防水施工</td><td>・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td></tr> <tr><td>タイル</td><td>タイル張り</td><td>・タイル張り作業</td></tr> <tr><td>木</td><td>建築大工</td><td>・大工工事作業</td></tr> <tr><td>屋根及びとい</td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業 ・かわらぶき作業</td></tr> <tr><td>金属</td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr> <tr><td>左官</td><td>左官</td><td>・左官作業</td></tr> <tr><td>建具</td><td>建具製作</td><td>・木製建具手加工作業 ・木製建具機械加工作業 ・アルミ製室内建具製作作業</td></tr> <tr><td></td><td>サッシ施工</td><td>・ビル用サッシ施工作業</td></tr> <tr><td></td><td>ガラス施工</td><td>・ガラス工事作業</td></tr> <tr><td>塗装</td><td>塗装</td><td>◎建築塗装作業</td></tr> <tr><td>内装</td><td>内装仕上げ施工</td><td>・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・ボード仕上げ工事作業</td></tr> <tr><td></td><td>表装</td><td>・表具作業 ・壁装作業</td></tr> <tr><td>配管</td><td>配管</td><td>・建築配管作業</td></tr> <tr><td>植栽</td><td>造園</td><td>・造園工事作業</td></tr> <tr><td>機械設備</td><td>冷凍空調和機器施工</td><td>・冷凍空調和機器施工作業</td></tr> </tbody> </table> <p>◎設計図書(各施工計画書を含む)に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと</p> <p>◎試験等によらなければ、確認できない工事(製品)については、試験等計画書(施工計画書に記載)を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。</p> <p>◎次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実行数以上の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が認める場合は、一般入札工事に限り、これによらないことができる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>当初請負対象額</th> <th>一般入札工事</th> <th>低入札工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3千万円未満</td><td>—</td><td>1回</td></tr> <tr><td>3千万円以上5千万円未満</td><td>—</td><td>2回</td></tr> <tr><td>5千万円以上1億円未満</td><td>1回</td><td>2回</td></tr> <tr><td>1億円以上</td><td>2回</td><td>3回</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 低入札工事とは、低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事という。 一般入札工事とは、低入札工事以外の工事という。</p> <p>◎中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし、契約締結後速やかに監督員と協議すること。</p>	項目	建築工事	電気工事	管工事	空調工事	その他	床、壁、床スリッパ入れ		○	○	○		同上穴埋補修		○	○	○		スリッパ開口補強(鉄筋)	○					同上(リンレン等)	○					床、天井点検口	○					設備機器天井開口墨出		○	○	○		同上切込み及び開口補強	○					衛生器具取付のブロック壁 空洞部分のモルタル埋め			○			縦樋(GLまで)	○					壁、便器等の箱入れ		○	○	○		同上補強	○					給排水ガラリ取り付け	○					空調機器類の基礎工事	○					工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設	とび	◎とび作業	鉄筋	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業	コンクリート	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業	型枠	型枠施工	・型枠工事作業	鉄骨	鉄工	・構造物鉄工作業	防水	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業	タイル	タイル張り	・タイル張り作業	木	建築大工	・大工工事作業	屋根及びとい	建築板金	・内外装板金作業 ・かわらぶき作業	金属	建築板金	・内外装板金作業	左官	左官	・左官作業	建具	建具製作	・木製建具手加工作業 ・木製建具機械加工作業 ・アルミ製室内建具製作作業		サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	・ガラス工事作業	塗装	塗装	◎建築塗装作業	内装	内装仕上げ施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・ボード仕上げ工事作業		表装	・表具作業 ・壁装作業	配管	配管	・建築配管作業	植栽	造園	・造園工事作業	機械設備	冷凍空調和機器施工	・冷凍空調和機器施工作業	当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事	3千万円未満	—	1回	3千万円以上5千万円未満	—	2回	5千万円以上1億円未満	1回	2回	1億円以上	2回	3回
項目	建築工事	電気工事	管工事	空調工事	その他																																																																																																																																																														
床、壁、床スリッパ入れ		○	○	○																																																																																																																																																															
同上穴埋補修		○	○	○																																																																																																																																																															
スリッパ開口補強(鉄筋)	○																																																																																																																																																																		
同上(リンレン等)	○																																																																																																																																																																		
床、天井点検口	○																																																																																																																																																																		
設備機器天井開口墨出		○	○	○																																																																																																																																																															
同上切込み及び開口補強	○																																																																																																																																																																		
衛生器具取付のブロック壁 空洞部分のモルタル埋め			○																																																																																																																																																																
縦樋(GLまで)	○																																																																																																																																																																		
壁、便器等の箱入れ		○	○	○																																																																																																																																																															
同上補強	○																																																																																																																																																																		
給排水ガラリ取り付け	○																																																																																																																																																																		
空調機器類の基礎工事	○																																																																																																																																																																		
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																																																																																																																																																																	
仮設	とび	◎とび作業																																																																																																																																																																	
鉄筋	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業																																																																																																																																																																	
コンクリート	コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業																																																																																																																																																																	
型枠	型枠施工	・型枠工事作業																																																																																																																																																																	
鉄骨	鉄工	・構造物鉄工作業																																																																																																																																																																	
防水	防水施工	・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																																																																																																																	
タイル	タイル張り	・タイル張り作業																																																																																																																																																																	
木	建築大工	・大工工事作業																																																																																																																																																																	
屋根及びとい	建築板金	・内外装板金作業 ・かわらぶき作業																																																																																																																																																																	
金属	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																																																																																	
左官	左官	・左官作業																																																																																																																																																																	
建具	建具製作	・木製建具手加工作業 ・木製建具機械加工作業 ・アルミ製室内建具製作作業																																																																																																																																																																	
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業																																																																																																																																																																	
	ガラス施工	・ガラス工事作業																																																																																																																																																																	
塗装	塗装	◎建築塗装作業																																																																																																																																																																	
内装	内装仕上げ施工	・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ工事作業 ・鋼製下地工事作業 ・ボード仕上げ工事作業																																																																																																																																																																	
	表装	・表具作業 ・壁装作業																																																																																																																																																																	
配管	配管	・建築配管作業																																																																																																																																																																	
植栽	造園	・造園工事作業																																																																																																																																																																	
機械設備	冷凍空調和機器施工	・冷凍空調和機器施工作業																																																																																																																																																																	
当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事																																																																																																																																																																	
3千万円未満	—	1回																																																																																																																																																																	
3千万円以上5千万円未満	—	2回																																																																																																																																																																	
5千万円以上1億円未満	1回	2回																																																																																																																																																																	
1億円以上	2回	3回																																																																																																																																																																	
9. 技能士の適用																																																																																																																																																																			
10. 工事検査及び技術検査																																																																																																																																																																			

項目	特記事項								
11. 完成図等	<p>◎中間検査が部分払検査と同時期になる場合は、中間検査を省略することができる。</p> <p>◎基礎杭工事を含む工事については、請負対象額にかかわらず、基礎杭工事完了後、中間検査を実施する。</p> <p>◎電子納品：対象</p> <p>◎提出書類 ・竣工図(製本2部、電子データ2部)(A4・A3・A2(原図版)) ・工事写真(写真帳1部(着手前)・工事中(竣工)、電子データ部) 写真帳は監督員から指示があった場合に提出 ・使用材料一覧表(1部、うち電子データ1部)</p> <p>・安全に関する資料</p> <p>◎竣工図は関係図面(データ貸与)を修正して作成すること。 竣工図データは、関係図面(データ貸与)を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びオリジナル形式をCD-Rに保存する。</p> <p>◎工事写真はしゅん工、着工前、資材、施工状況の順に整理する。 しゅん工については、工事目的物の状態が、また、資材、施工状況等については、不可視不文の出来形が写真で的確に確認できること。</p> <p>◎工事写真の撮影は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>サイズ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>着工前</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td></tr> <tr><td>工事中</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td></tr> <tr><td>竣工</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td></tr> </tbody> </table> <p>◎工事完成撮影は、専門家に(よる(よらない)ものとする。</p> <p>◎受注者は、建築工事を施工する場合、原則として「徳島県電子納品適用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品(以下「電子納品」という。)すること。</p> <p>◎対象物 工事目的物及び検査済材料(支給材料を含む)について付保すること。</p> <p>◎付保除外工事 次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。 (1) 杭及び基礎工事 (2) コンクリート躯体工事 (3) 屋外付帯工事 (4) その他実状を判断の上、必要がないと認めた場合(外壁補修工事等)</p> <p>◎付保する時期及び金額 鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。 また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。</p> <p>◎保険終期 工事完成期日に14日を加えた期日とする。 なお、工期延伸した場合には、保険の期間も延長すること。</p> <p>◎その他 (1) 建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。 (2) 付保する時期以降に出来高払いを行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払いの書類に添付すること。</p> <p>◎徳島県公共工事標準請負契約約款第41条第2項に基づく瑕疵の補修又は損害賠償の請求期間は(1年・(2年))とする。 ただし、その瑕疵が受注者の故意又は重大な過失により生じた場合には、当該請求を行うことができる期間は10年とする。</p> <p>◎受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事(以下、「対象工事」という)とすることができる。</p> <p>◎対象工事は、徳島県CALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について(県土整備部)」に記載された全ての内容を適用することとする。</p>	区分	サイズ	着工前	カラー、手札版又はサービスサイズ	工事中	カラー、手札版又はサービスサイズ	竣工	カラー、手札版又はサービスサイズ
区分	サイズ								
着工前	カラー、手札版又はサービスサイズ								
工事中	カラー、手札版又はサービスサイズ								
竣工	カラー、手札版又はサービスサイズ								
12. 火災保険									
13. 瑕疵補修									
14. デジタル工事写真の小黑板情報電子化									

2章 改修仮設工事

項目	特記事項
1. 一般事項	◎着工に先立ち、敷地境界、既存構造物及び地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと。
2. ベンチマーク	◎設計GLの設定は、1FL-1.190を±0とする。ただし、監督員の指示により決定する。
3. 足場等	◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。 ①労働安全衛生法に基づく構造規格 ②(社)仮設工業会の認定基準 また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」に基づく(社)仮設工業会の「通用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承諾を得ること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等(組立から解体までの期間が60日未満を除く)の設置や転転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。 届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず、足場を設置する場合は、使用開始前に住宅課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。 ◎受注者は、高さが2m以上の箇所で行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 ◎外部足場(種類 枠組、仕様: 2 枚布、D=90 cm、シート仕様 養生シート防炎Ⅱ類) ・壁つなぎ間隔(水平方向): 8 m以下、鉛直方向: 9 m以下 ・足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(2.2.4)の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式 により行うこと。 ただし監督員の承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。 ◎階段部分足場(種類: 単管足場) ◎足場等の設置業者は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。 ◎受注者は、つり足場(ゴンドラのつり足場を除く。)、張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具等を上げ、又はおろすときは、つり綱、つり袋等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職務を掲示すること。
4. 養生	◎既存部分の養生範囲は図示による。(養生方法: 養生シート) ◎既存部分の家具等の養生範囲は図示による。(養生方法:)
5. 監督員事務所	◎監督員事務所は(設ける(面積 m ² 程度) <input type="checkbox"/> 設けない)
6. 工事用水、電力等	◎既存電力利用(出来る <input type="checkbox"/> 出来ない)、電力料金(有 <input type="checkbox"/> 無償) ただし、施設管理者と協議すること。 ◎既存用水利用(出来る <input type="checkbox"/> 出来ない)、用水料金(有 <input type="checkbox"/> 無償) ただし、施設管理者と協議すること。
7. 工事車両駐車場 資材置場 現場事務所用地等	◎同用地は、(図示の場所に <input type="checkbox"/> 用意していないので業者に)設けること。 ◎借地借家料 円
8. 仮設トイレの洋式化	◎受注者は当初請負対象金額(設計金額)1千万円以上7千万円未満の工事において、仮設トイレを設置する場合、原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。 ◎受注者は当初請負対象金額(設計金額)1千万円以上7千万円未満の工事において、現場代理人または主任技術者が女性の場合、設置する仮設トイレは、「快適トイレ」を標準とする。 ただし、特段の理由がある場合は、この限りでない。 ◎受注者は、当初請負対象金額(設計金額)7千万円以上の工事において仮設トイレを設置する場合、原則として「快適トイレ」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合は、この限りでない。 ◎受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。 ○洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。 ○快適トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施設の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。

3章 外壁改修工事

項目	特記事項
1. 外壁改修の施工数量及び調査方法	◎当工事の積算計上数量は、地上部から打診、目視により把握できた調査数量を計上している。 ◎外部足場設置後、施工数量調査を行う。 ◎施工数量調査にあたり、既存塗り仕上げ部については、打診により、下地コンクリートの浮き等を調査し、浮き等がある一定の範囲のみを塗装剥離し、下記(a)調査を行う。浮き等がない場合には、下記(c)調査を行う。

項目	特記事項
2. 外壁改修工法の種類及び材料	(a)コンクリート打直し仕上げ (1)ひび割れ幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 (2)コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 (3)(1)及び(2)の結果を記録し監督員に提出する。 (b)モルタル塗り仕上げ外壁及びタイル張り仕上げ外壁 (1)浮き部分を壁面に表示する。 (2)(a)の(1)から(3)による。 (c)塗り仕上げ外壁の場合 (1)仕上塗材等の劣化部分、はく離部分等を壁面に表示する。 (2)既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。 (3)(b)及び(a)の(1)から(2)による

◎調査に先立ち、調査内容及び方法等の計画書を作成し監督員の承諾を得ること。また、調査方法等で専門知識が必要な場合は、各工法・材料の専門技術者(製造所等)に依頼すること。

◎コンクリート打ち直し仕上げ外壁		欠損部	
工法	ひび割れ部		
樹脂注入工法 ①-1	(0.2mm以上1.0mm以下) 工法: 自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量: 25ml/本 注入間隔: 200~300mm エポキシ樹脂: 製造所の仕様	/	
Uカットシール材 充填工法 ②-1	(1.0mmを超える) 材料: 2成分形ウレタン系シーリング +ポリアセトモルタル シーリング材: 改標仕表3.7.1		
シール工法 ③	(0.2mm以下) 材料: パテ状球状樹脂+砂		
充填工法 ④	(鉄筋露出部・深い欠損30mm超) 材料: 球状樹脂+砂		

◎エポキシ樹脂及びポリマーセメントモルタルの製造所: 評価名簿による。

◎モルタル塗り仕上げ外壁		欠損部		浮き部	
工法	ひび割れ部				
樹脂注入工法 ①-1	(0.2mm以上1.0mm以下) 工法: 自動式低圧球状樹脂注入工法 注入量: 25ml/本 注入間隔: 200~300mm エポキシ樹脂: 製造所の仕様	/		/	
Uカットシール材 充填工法 ②-1	(1.0mmを超える) 材料: 2成分形ウレタン系シーリング +ポリアセトモルタル シーリング材: 改標仕表3.7.1				
シール工法 ③	(0.2mm未満) 材料: パテ状球状樹脂+砂				
充填工法 ④	(0.25㎡未満) 材料: ポリアセトモルタル				
アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 ⑥				(0.25㎡未満) 球状樹脂: JIS A 6024 低粘度形又は中粘度 注入量: 25ml/本 ピン本数 一般: 1.6本/m ² 指定: 2.5本/m ²	
アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 ⑦				(0.25㎡以上) 球状樹脂: JIS A 6024 低粘度形又は中粘度 注入量: 25ml/本 注入口 一般: 1.2個/m ² 指定: 2.0個/m ² ピン本数 一般: 1.3本/m ² 指定: 2.0本/m ²	

◎仕上げの模様、色及びつやは、見本帳又は見本塗り板を監督員に提出して、承諾をうけること。
◎下地処理(下地のひび割れ部の補修)は、2. 外壁改修工法の種類と材料 による。

◎施工数量調査の結果、浮き部等については、下表により外壁改修を行う。

種類	既存塗膜の除去及び下地調整の工法	下地仕上	下地調整	仕上形状	工法	防火認定	仕上材
薄付け仕上塗材 JIS A 6909	外装薄塗材S 可とう形外装薄塗材S						
	外装薄塗材E 可とう形外装薄塗材E 防水形外装薄塗材E 外装薄塗材S	改標仕表4.6.2	C-1吹付	JIS A 6916	凹凸模様	吹付	有 つやなし

項目	特記事項						
種類	既存塗膜の除去及び下地調整の工法	下地仕上	下地調整	仕上形状	工法	防火認定	仕上材
複層仕上塗材 JIS A 6909	複層塗材CE 可とう形複層塗材CE 複層塗材E 複層塗材Si 複層塗材RS 複層塗材RE						
	防水形複層塗材CE 防水形複層塗材E 防水形複層塗材RS 防水形複層塗材RE	改標仕表4.6.2	C-1吹付	JIS A 6916	凹凸模様	吹付	有 つやあり

◎シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。
◎プライマーは、被着体及びシーリングの種類により使い分けること。
◎監督員に、シーリング材の有効期限が切れていないことの確認を受けること。
◎シーリング面への仕上塗材仕上げ等を(行)・行わない。
◎外部に面するシーリング材は、施工に先立ち(簡易接着性試験・引張接着性試験)を行う。
◎種類及び施工箇所

記号	材質	既存	施工箇所	改修工法	寸法	接着試験
SR-1	1成分シリコーン系					
SR-2	2成分シリコーン系					
PS-2	ポリファルサイド系					
MS-2	変成シリコーン		外壁(縦筋部)・階段(防雨)		10×10	○
PU-2	ポリウレタン系		階段(手すり)		10×10	○
PU-2	ポリウレタン系		外壁(目地・外側)		25×10	○

※変性シリコーン系シーリング材の上に塗装する場合にのみノンブリードタイプ使用のこと

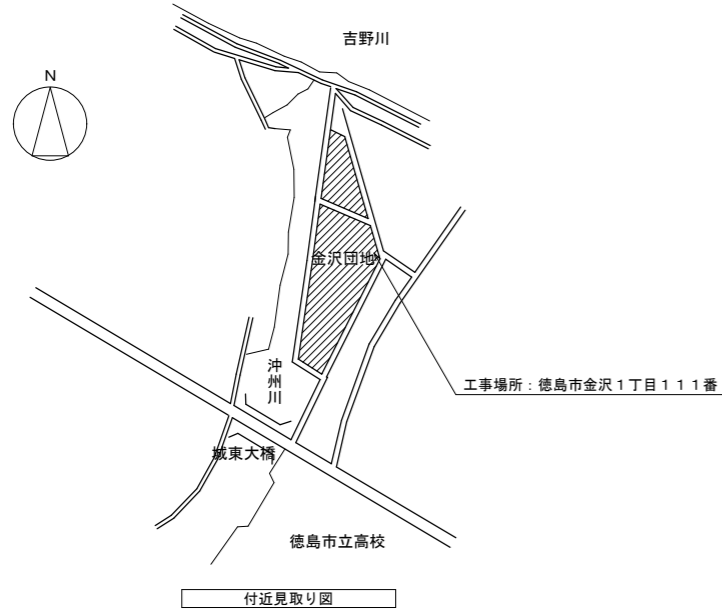
4章 防水改修工事

項目	特記事項																																																																																					
1. 一般事項	◎保護層、防水層等を撤去した結果、下地等が設計図書と異なる場合は監督員と協議すること。 ◎降雨等に対する養生方法は、(上屋シート養生・下階天井養生・その他())とする。																																																																																					
2. 改修工法の種類及び工程	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>工法</th> <th>外装薄塗材E除去の上ウレタン系塗膜防水工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>既存保護層(立上り部等)撤去等</td> <td>窓台</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>既存保護層(平場)撤去等</td> <td>外装薄塗材E</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>既存断熱層撤去等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>既存防水層(立上り部等)撤去等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>既存防水層(平場)撤去等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>既存下地の補修及び処置</td> <td>1成分形 コウチン下地用プライマー</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>防水層の新設</td> <td>ウレタン防水材</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>断熱材の新設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>保護層の新設</td> <td>2成分形ウレタン系トップコート</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>工法</th> <th>M/S 工法</th> <th>S/S 工法</th> <th>L/X 工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工箇所</td> <td></td> <td>勾配・陸屋根一般部</td> <td>陸屋根立上部</td> <td>勾配部・陸屋根</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>既存保護層(立上り部等)撤去等</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>既存保護層(平場)撤去等</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>既存断熱層撤去等</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>既存防水層(立上り部等)撤去等</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>既存防水層(平場)撤去等</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>既存下地の補修及び処置</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>防水層の新設</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>断熱材の新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>保護層の新設</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	工程	工法	外装薄塗材E除去の上ウレタン系塗膜防水工法	1	既存保護層(立上り部等)撤去等	窓台	2	既存保護層(平場)撤去等	外装薄塗材E	3	既存断熱層撤去等		4	既存防水層(立上り部等)撤去等		5	既存防水層(平場)撤去等		6	既存下地の補修及び処置	1成分形 コウチン下地用プライマー	7	防水層の新設	ウレタン防水材	8	断熱材の新設		9	保護層の新設	2成分形ウレタン系トップコート	工程	工法	M/S 工法	S/S 工法	L/X 工法	施工箇所		勾配・陸屋根一般部	陸屋根立上部	勾配部・陸屋根	1	既存保護層(立上り部等)撤去等	-	-	-	2	既存保護層(平場)撤去等	-	-	-	3	既存断熱層撤去等	-	-	-	4	既存防水層(立上り部等)撤去等	-	○	-	5	既存防水層(平場)撤去等	-	-	-	6	既存下地の補修及び処置	○	○	○	7	防水層の新設	○	○	○	8	断熱材の新設	-	-	-	9	保護層の新設	-	-	○
工程	工法	外装薄塗材E除去の上ウレタン系塗膜防水工法																																																																																				
1	既存保護層(立上り部等)撤去等	窓台																																																																																				
2	既存保護層(平場)撤去等	外装薄塗材E																																																																																				
3	既存断熱層撤去等																																																																																					
4	既存防水層(立上り部等)撤去等																																																																																					
5	既存防水層(平場)撤去等																																																																																					
6	既存下地の補修及び処置	1成分形 コウチン下地用プライマー																																																																																				
7	防水層の新設	ウレタン防水材																																																																																				
8	断熱材の新設																																																																																					
9	保護層の新設	2成分形ウレタン系トップコート																																																																																				
工程	工法	M/S 工法	S/S 工法	L/X 工法																																																																																		
施工箇所		勾配・陸屋根一般部	陸屋根立上部	勾配部・陸屋根																																																																																		
1	既存保護層(立上り部等)撤去等	-	-	-																																																																																		
2	既存保護層(平場)撤去等	-	-	-																																																																																		
3	既存断熱層撤去等	-	-	-																																																																																		
4	既存防水層(立上り部等)撤去等	-	○	-																																																																																		
5	既存防水層(平場)撤去等	-	-	-																																																																																		
6	既存下地の補修及び処置	○	○	○																																																																																		
7	防水層の新設	○	○	○																																																																																		
8	断熱材の新設	-	-	-																																																																																		
9	保護層の新設	-	-	○																																																																																		
3. 既存下地の補修材料	◎アスファルトは、JIS K 2207の規格品3種とする。 ◎端部押さえ金物は、既成アルミニウム製とし、形状寸法は(L=40×10×1.5)とする。 ◎ポリマーセメントモルタル及びポリマーセメントペースト、層間接着用プライマー、アスファルト系下地調整材、二重ドレン等の材料は、ルーフィング類製造所の指定する製品とする。 ・ルーフトレインの端部から(500mm(300mm))の防水層及びシーリングを撤去し、ポリマーセメントモルタルで勾配1/2程度に仕上げること。 ◎補修箇所の形状、長さ、数量等は図示する。																																																																																					
4. ルーフドレン廻りの処理																																																																																						
5. 既存下地の補修及び処理																																																																																						

項目	特記事項																																																																																																																																																																																																
6. 合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>◎合成高分子系ルーフィングシートは、JIS A 6008の規格品とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="2">シート</th> <th colspan="2">断熱材</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>種類</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">POS S4S</td> <td>S-F1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-F2</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">SSS</td> <td>S-M3</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-F1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">M4S</td> <td>S-F1</td> <td>発泡ポリエチレンシート</td> <td>1.5 mm</td> <td></td> <td></td> <td>壁・天井立上部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>S-M2</td> <td>発泡ポリエチレンシート</td> <td>1.5 mm</td> <td></td> <td></td> <td>勾配底部</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">POS1 S3S1 S4S1 M4S1</td> <td>S-M3</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SI-F1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SI-F2</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">PIS</td> <td>SI-M1</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SI-M2</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>SI-M3</td> <td></td> <td>mm</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎機械式固定工法の場合は、引抜き試験の結果に基づき、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。</p> <p>○建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速$V_0=(36)$m/s 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)</p> <p>◎絶縁用シートは、発泡ポリエチレンシートとする。</p> <p>◎プライマー、増し張り用シート、成型役物、接着剤、仕上塗料、シール材、固定金具、絶縁用テープ等は、ルーフィングシート製造所の指定する製品とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>S(S1)-F2</th> <th>S(S1)-M2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地処理</td> <td>標仕9.4.4(a)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50mm絶縁用テープ張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平場接着法</td> <td>接着剤塗布</td> <td>固定金具</td> </tr> <tr> <td>断熱材(断熱工法)</td> <td>下地に断熱材を敷設(種付、ローラー等で密着した発泡ルーフィングを張り付ける)</td> <td>下地に防護用フィルムを敷設し、次に断熱材を敷設し、密着させる</td> </tr> <tr> <td>立上り部等 出隅入隅部</td> <td>ルーフィングシート 施工後成型役物張付け</td> <td>S-F2と同じ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">増 張</td> <td>ルーフトレン、 配管等と防水 下地材との取 合い部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平場</td> <td>縦横40mm以上</td> <td>縦横40mm以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">重 部</td> <td>立上りと平場</td> <td>40mm以上</td> <td>40mm以上</td> </tr> <tr> <td>接合部</td> <td>接着剤</td> <td>熱融着又は溶剤溶着</td> </tr> <tr> <td>接合端部</td> <td>紐状又は液状シール</td> <td>紐状又は液状シール</td> </tr> <tr> <td>立上り・立下り部 の末端部処理</td> <td>端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、 末端部は押さえ金物で固定し、シール材を充填する。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕上げ塗料</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎特記仕様書、改標仕及び標仕以外は、主材料製造所の仕様による。</p> <p>◎脱気装置の仕様：メーカー仕様による ・ルーフトレンの材質規格：改修用ドレンφ100用</p> <p>◎工法： L4X 種別： X-2</p> <p>◎塗膜を形成する材料は、JIS A 6021の規格品とする。</p> <p>◎プライマー、層間接着用プライマー、補強布、接着剤、通気緩衝シート、シーリング材、仕上げ塗料等は主材料製造所の指定製品とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">POX</td> <td>X-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">L4X</td> <td>X-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>X-2</td> <td>勾配底部・壁・天井・窓台</td> <td>ウレタン防水材</td> <td>2成分形7リットル系トッポコート</td> </tr> <tr> <td>P1Y</td> <td>Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P2Y</td> <td>Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>◎特記仕様書、改標仕及び標仕以外は、主材料製造所の仕様による。</p> <p>◎屋内については、漏水試験を行う。</p> <p>◎防水工事完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による (3・5・7・10)年間の防水工事事業保証書を提出すること。</p>	工法	種別	シート		断熱材		施工箇所	備考	種類	厚さ	種類	厚さ	POS S4S	S-F1		mm					S-F2		mm					S-M1		mm					S-M2		mm					SSS	S-M3		mm					S-F1		mm					M4S	S-F1	発泡ポリエチレンシート	1.5 mm			壁・天井立上部		S-M1		mm					S-M2	発泡ポリエチレンシート	1.5 mm			勾配底部		POS1 S3S1 S4S1 M4S1	S-M3		mm					SI-F1		mm					SI-F2		mm					PIS	SI-M1		mm					SI-M2		mm					SI-M3		mm					区分	S(S1)-F2	S(S1)-M2	下地処理	標仕9.4.4(a)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50mm絶縁用テープ張り		平場接着法	接着剤塗布	固定金具	断熱材(断熱工法)	下地に断熱材を敷設(種付、ローラー等で密着した発泡ルーフィングを張り付ける)	下地に防護用フィルムを敷設し、次に断熱材を敷設し、密着させる	立上り部等 出隅入隅部	ルーフィングシート 施工後成型役物張付け	S-F2と同じ	増 張	ルーフトレン、 配管等と防水 下地材との取 合い部		平場	縦横40mm以上	縦横40mm以上	重 部	立上りと平場	40mm以上	40mm以上	接合部	接着剤	熱融着又は溶剤溶着	接合端部	紐状又は液状シール	紐状又は液状シール	立上り・立下り部 の末端部処理	端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、 末端部は押さえ金物で固定し、シール材を充填する。		仕上げ塗料			工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考	POX	X-1				X-2				L4X	X-1				X-2	勾配底部・壁・天井・窓台	ウレタン防水材	2成分形7リットル系トッポコート	P1Y	Y-2				P2Y	Y-2			
工法	種別			シート		断熱材				施工箇所	備考																																																																																																																																																																																						
		種類	厚さ	種類	厚さ																																																																																																																																																																																												
POS S4S	S-F1		mm																																																																																																																																																																																														
	S-F2		mm																																																																																																																																																																																														
	S-M1		mm																																																																																																																																																																																														
	S-M2		mm																																																																																																																																																																																														
SSS	S-M3		mm																																																																																																																																																																																														
	S-F1		mm																																																																																																																																																																																														
M4S	S-F1	発泡ポリエチレンシート	1.5 mm			壁・天井立上部																																																																																																																																																																																											
	S-M1		mm																																																																																																																																																																																														
	S-M2	発泡ポリエチレンシート	1.5 mm			勾配底部																																																																																																																																																																																											
POS1 S3S1 S4S1 M4S1	S-M3		mm																																																																																																																																																																																														
	SI-F1		mm																																																																																																																																																																																														
	SI-F2		mm																																																																																																																																																																																														
PIS	SI-M1		mm																																																																																																																																																																																														
	SI-M2		mm																																																																																																																																																																																														
	SI-M3		mm																																																																																																																																																																																														
区分	S(S1)-F2	S(S1)-M2																																																																																																																																																																																															
下地処理	標仕9.4.4(a)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50mm絶縁用テープ張り																																																																																																																																																																																																
平場接着法	接着剤塗布	固定金具																																																																																																																																																																																															
断熱材(断熱工法)	下地に断熱材を敷設(種付、ローラー等で密着した発泡ルーフィングを張り付ける)	下地に防護用フィルムを敷設し、次に断熱材を敷設し、密着させる																																																																																																																																																																																															
立上り部等 出隅入隅部	ルーフィングシート 施工後成型役物張付け	S-F2と同じ																																																																																																																																																																																															
増 張	ルーフトレン、 配管等と防水 下地材との取 合い部																																																																																																																																																																																																
	平場	縦横40mm以上	縦横40mm以上																																																																																																																																																																																														
重 部	立上りと平場	40mm以上	40mm以上																																																																																																																																																																																														
	接合部	接着剤	熱融着又は溶剤溶着																																																																																																																																																																																														
	接合端部	紐状又は液状シール	紐状又は液状シール																																																																																																																																																																																														
	立上り・立下り部 の末端部処理	端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、 末端部は押さえ金物で固定し、シール材を充填する。																																																																																																																																																																																															
仕上げ塗料																																																																																																																																																																																																	
工法	種別	施工箇所	仕上塗料	備考																																																																																																																																																																																													
POX	X-1																																																																																																																																																																																																
	X-2																																																																																																																																																																																																
L4X	X-1																																																																																																																																																																																																
	X-2	勾配底部・壁・天井・窓台	ウレタン防水材	2成分形7リットル系トッポコート																																																																																																																																																																																													
P1Y	Y-2																																																																																																																																																																																																
P2Y	Y-2																																																																																																																																																																																																
7. 塗膜防水																																																																																																																																																																																																	
8. 漏水試験																																																																																																																																																																																																	
9. 防水保証																																																																																																																																																																																																	

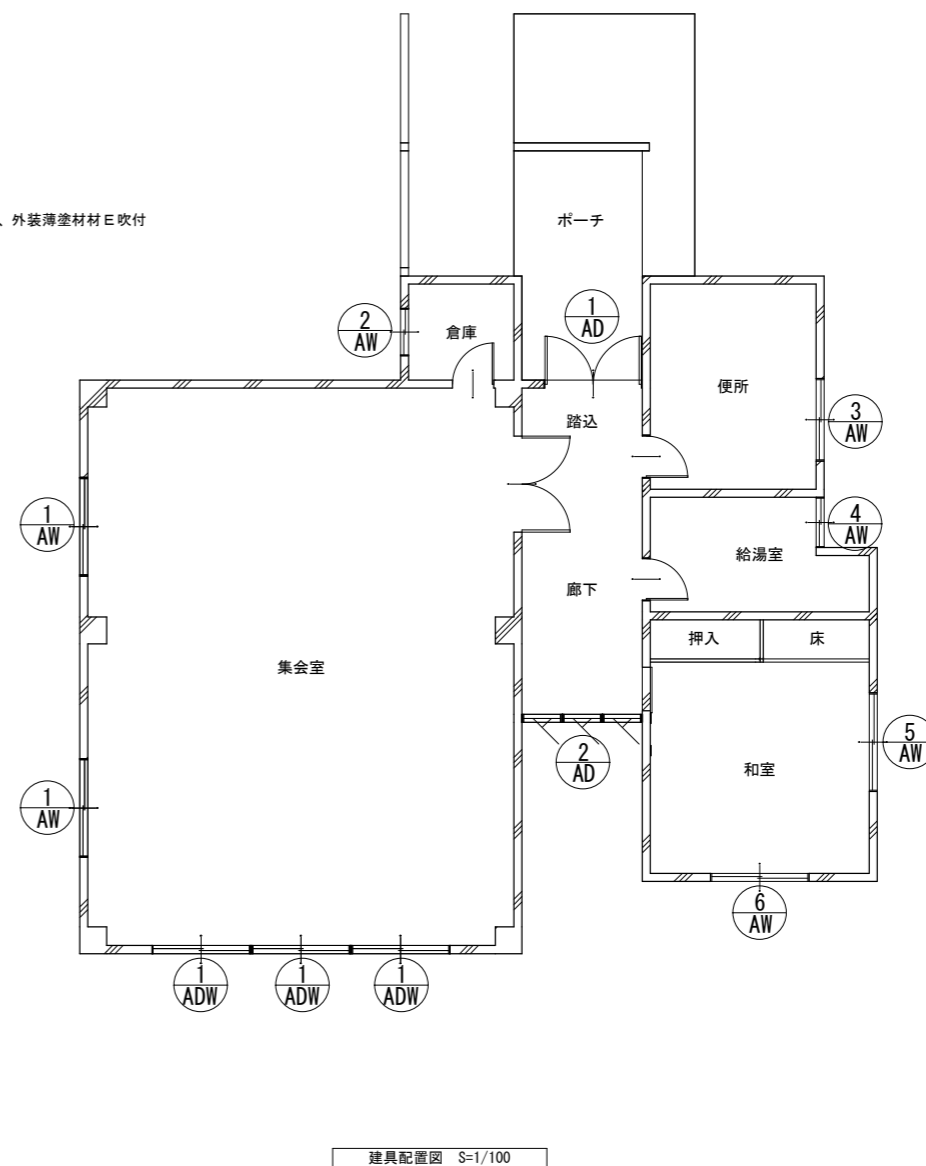
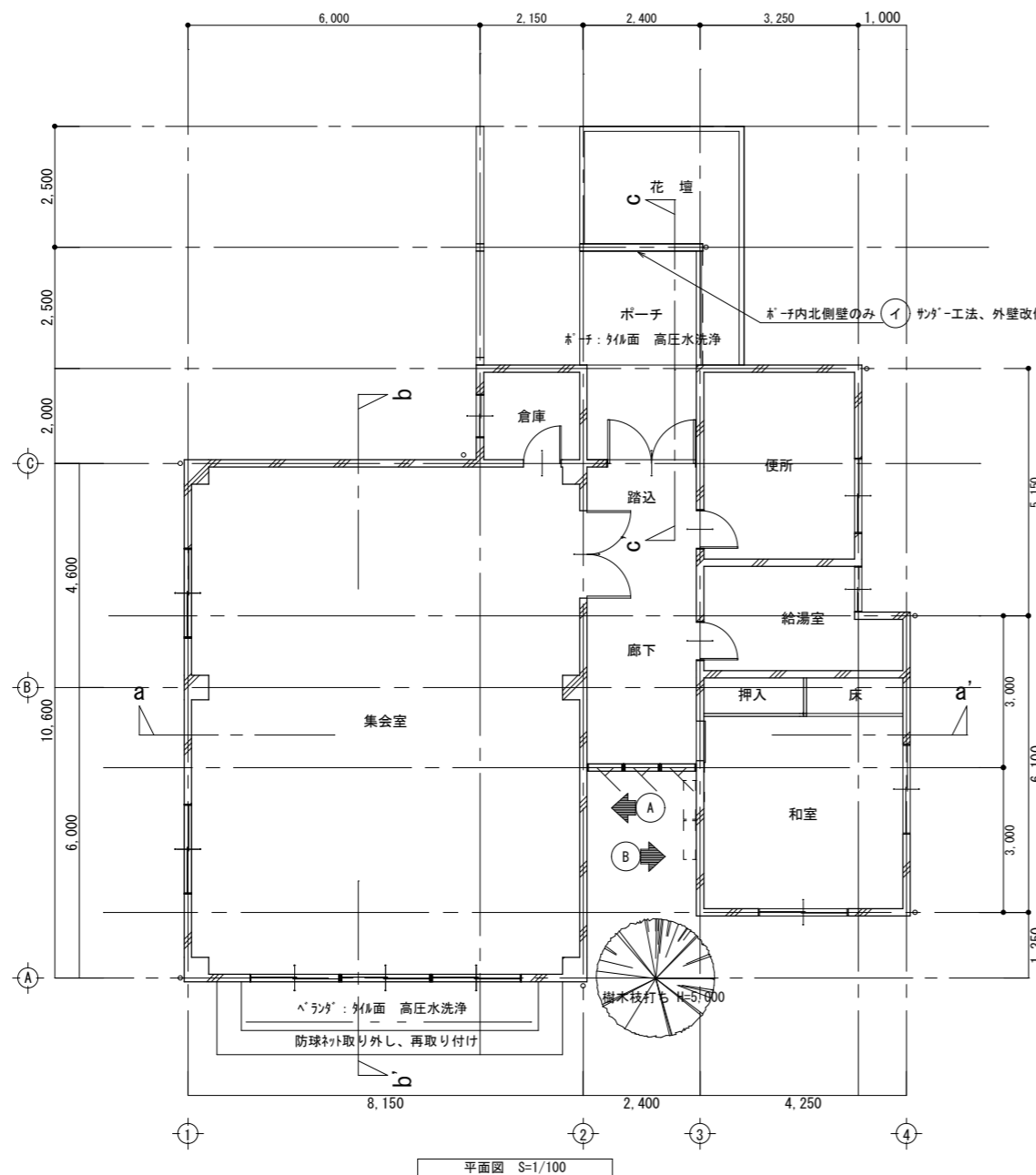
5章 塗装改修工事

項目	特記事項																									
1. 一般事項	<p>◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。</p> <p>◎塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。</p> <p>◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。</p> <p>ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p>																									
2. 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">種別</th> <th rowspan="2">下地調整</th> <th colspan="2">さび止め塗料</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄面</td> <td>改標仕表7.4.2B種</td> <td></td> <td>改標仕表7.2.2RB種</td> <td>改標仕表7.3.3C種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別		下地調整	さび止め塗料		備考	屋外	屋内	屋外	屋内	鉄面	改標仕表7.4.2B種		改標仕表7.2.2RB種	改標仕表7.3.3C種									
区分	種別		下地調整	さび止め塗料		備考																				
	屋外	屋内		屋外	屋内																					
鉄面	改標仕表7.4.2B種		改標仕表7.2.2RB種	改標仕表7.3.3C種																						
3. 合成樹脂エマルジョンペイント塗料(EP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄面</td> <td>改標仕表7.10.1 B種</td> <td>改標仕表7.2.4 RB種</td> <td>軒天(付加板)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別	下地調整	備考	鉄面	改標仕表7.10.1 B種	改標仕表7.2.4 RB種	軒天(付加板)																	
区分	種別	下地調整	備考																							
鉄面	改標仕表7.10.1 B種	改標仕表7.2.4 RB種	軒天(付加板)																							
4. 耐候性塗料塗り(DP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>上塗りの等級</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート面準用</td> <td>ノコ仕様</td> <td>ノコ仕様</td> <td>ノコ仕様</td> <td>種他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別	下地調整	上塗りの等級	備考	コンクリート面準用	ノコ仕様	ノコ仕様	ノコ仕様	種他															
区分	種別	下地調整	上塗りの等級	備考																						
コンクリート面準用	ノコ仕様	ノコ仕様	ノコ仕様	種他																						
5. 木材保護塗料塗り(WP)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種別</th> <th>下地調整</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>改標仕表7.15.1B種</td> <td>改標仕表7.2.1RA種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	種別	下地調整	備考	木部	改標仕表7.15.1B種	改標仕表7.2.1RA種																		
区分	種別	下地調整	備考																							
木部	改標仕表7.15.1B種	改標仕表7.2.1RA種																								



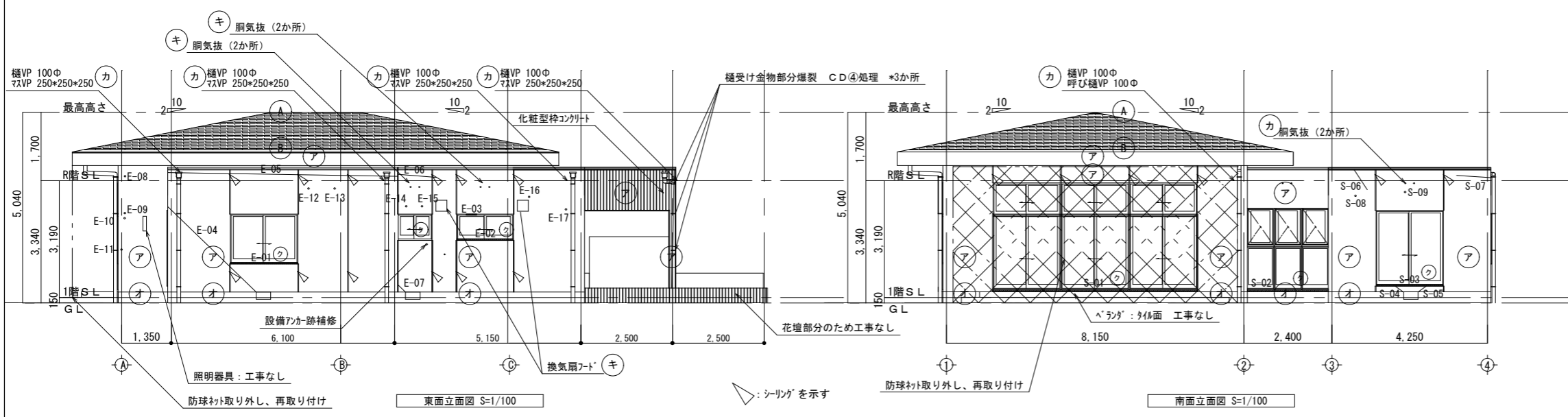
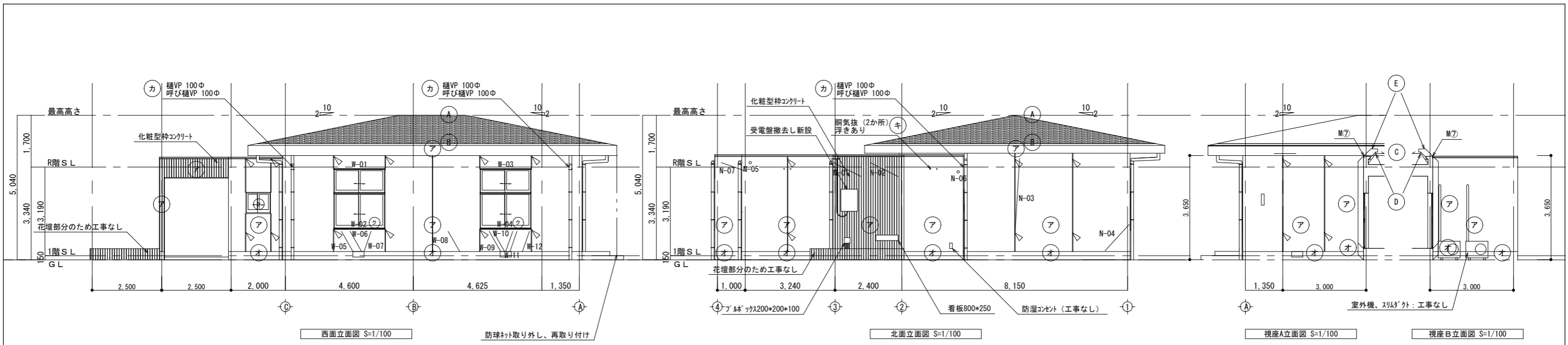
記号	部位	現状	工事内容
A	外壁	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、防水形複層塗材E吹付
I	外壁(窓-子内)、軒天(コンクリート)	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、外装薄塗材E吹付
ウ	軒天(ケレン板)	VP	下地調整、EP塗り
E	ホール天井	木質天井材	下地調整、VP塗り
オ	巾木	珪藻土押え	高圧水洗浄、外装改修工法
カ	軒樋・縦樋・胴気抜・排水管(塩化ビニル)	VP塗	塩ビ面下地処理の上、DP塗り
キ	同上受け・掴み金物、外部金属部(建具・胴気抜)	SOP塗	3種ケレンの上、下地処理、錆止め、SOP塗
ク	窓台	外装薄塗材E	サグ-工法、必要に応じて外壁改修工法を行い、下地調整、塗膜防水X-2
A	勾配屋根一般部	既設屋根シロ葺き(シリコン塗料) 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
B	勾配屋根部	珪藻土押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
C	陸屋根一般部	既設75アルミシート防水 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
D	陸屋根パレット立上部	既設75アルミシート防水 撤去	珪藻土下地調整の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(密着工法) S-F2
E	陸屋根パレット	珪藻土押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
F	ドレン	既設ドレン 撤去	改修ドレン 新設
C②	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカドシール材充填工法②
C③	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
C.D④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(深い欠損30mm超)	充填工法④ Eポキシ樹脂珪藻土+ケ砂
C.S④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(浅い欠損30mm以下)	充填工法④ Eポキシ樹脂珪藻土
M①	珪藻土外壁	ひび割れ部(0.2mm以上1.0mm以下)	樹脂注入工法①
M②	珪藻土外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカドシール材充填工法②
M③	珪藻土外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
M④	珪藻土外壁	欠損部(0.25m2未満)	充填工法④ Eポキシ樹脂珪藻土
M⑥	珪藻土外壁	浮き部(0.25m2未満)	アンカボンド部分Eポキシ樹脂注入工法⑥
M⑦	珪藻土外壁	浮き部(0.25m2以上)	アンカボンド全体Eポキシ樹脂注入工法⑦

補修仕上げ表



記号・数量	1 AW 集会室 数量 3か所	2 AD 廊下 数量 1か所	3 AW 倉庫 数量 1か所	4 AW 便所 数量 1か所	5 AW 給湯室 数量 1か所	6 AW 和室 数量 1か所	7 AW 和室 数量 1か所
記号・数量							
形式	2段引き違いアルミサッシ	FIX天窓付き両開ドア	2段片開窓付きFIX窓	2段引き違いアルミサッシ	引き違いアルミサッシ	引き違いアルミサッシ	引き違いアルミサッシ
見込み	70	70	70	70	70	70	70
塗装工事	下地調整の上、SOP塗	下地調整の上、SOP塗	下地調整の上、SOP塗	下地調整の上、SOP塗	下地調整の上、SOP塗	下地調整の上、SOP塗	下地調整の上、SOP塗
シーリング工事	周辺シーリング打ち換え	周辺シーリング打ち換え	周辺シーリング打ち換え	周辺シーリング打ち換え	周辺シーリング打ち換え	周辺シーリング打ち換え	周辺シーリング打ち換え
材質	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま	既設のまま
金物	付属金物一式のまま	付属金物一式のまま	付属金物一式のまま	付属金物一式のまま	付属金物一式のまま	付属金物一式のまま	付属金物一式のまま

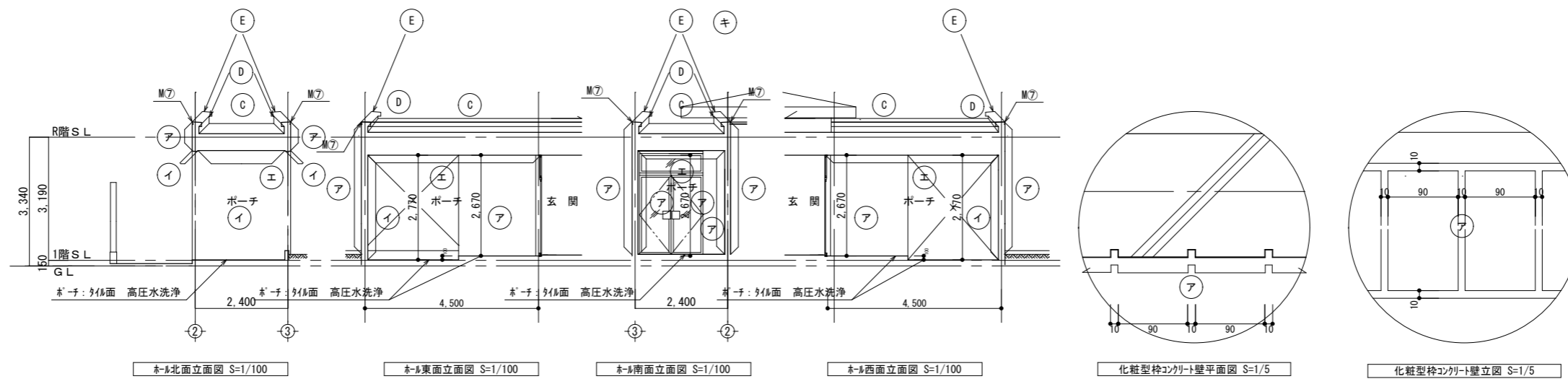
建具表 S=1/100



記号	現状	寸法
W-01	M⑦	100×1600
W-02	M⑦	100×1600
W-03	M⑦	100×1600
W-04	M⑦	100×1600
W-05	C①	L=900
W-06	C①	L=900
W-07	C①	L=900
W-08	C①	L=900
W-09	C①	L=900
W-10	C①	L=900
W-11	C①	L=900
W-12	C①	L=900
N-01	C②	L=500
N-02	C②	L=500
N-03	C①	L=3850
N-04	C①	L=400
N-05	C S④	100×100
N-06	C S④	100×100
N-07	C②	L=600
E-01	M⑦	100×1600
E-02	M⑦	100×1600
E-03	C D④	500×100
E-04	C②	L=2000
E-05	C②	L=6300
E-06	C②	L=500
E-07	C②	L=400
E-08	C D④	100×100
E-09	C D④	100×100
E-10	C D④	100×100
E-11	C D④	100×100
E-12	C D④	100×100
E-13	C D④	100×100
E-14	C D④	100×100
E-15	C D④	100×100
E-16	C D④	100×100
E-17	C D④	100×100
E-18	C D④	100×100
E-19	C D④	100×100
E-20	C D④	100×100
S-01	M⑦	100×5560
S-02	M⑦	100×1970
S-03	M⑦	100×1600
S-04	C②	L=100
S-05	C②	L=100
S-06	C②	L=500
S-07	C②	L=900
S-08	C D④	100×100
S-09	C D④	100×100

記号	部位	現状	工事内容
ア	外壁	外装薄塗材E	ウツグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、防水形複層塗材E吹付
イ	外壁(軒子内)、軒天(コンクリート)	外装薄塗材E	ウツグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、外装薄塗材E吹付
ウ	軒天(ケレン)	V P	下地調整、E P塗り
エ	ホール天井	未養生材	下地調整、WP塗り
オ	巾木	珪藻石押え	高圧水洗浄、外装改修工法
カ	軒樋・縦樋・胴気抜・排水管(塩化ビニル)	V P塗	塩ビ面下地処理の上、D P塗り
キ	同上受け・摺り金物、外部金属部(建具・胴気抜)	S O P塗	3種ケレンの上、下地処理、錆止め、S O P塗
ク	窓台	外装薄塗材E	ウツグ-工法、必要に応じて外壁改修工法を行い、下地調整、塗膜防水X-2
A	勾配屋根一般部	既設屋根シングル葺き(珪藻石) 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
B	勾配樋部	珪藻石押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法 X-2
C	陸屋根一般部	既設75μmシート防水 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
D	陸屋根パレット立上部	既設75μmシート防水 撤去	珪藻石下地調整の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(密着工法) S-F2
E	陸屋根パレット	珪藻石押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法 X-2
F	ドレン	既設ドレン 撤去	改修ドレン 新設
C②	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカットシール材充填工法②
C③	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
C D④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(深い欠損30mm超)	充填工法④ 珪藻石系樹脂珪藻石+ケレン
C S④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(浅い欠損30mm以下)	充填工法④ 珪藻石系樹脂珪藻石
M①	珪藻石外壁	ひび割れ部(0.2mm以上1.0mm以下)	樹脂注入工法①
M②	珪藻石外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカットシール材充填工法②
M③	珪藻石外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
M④	珪藻石外壁	欠損部(0.25m2未満)	充填工法④ 珪藻石系樹脂珪藻石
M⑥	珪藻石外壁	浮き部(0.25m2未満)	アクリル樹脂部分珪藻石樹脂注入工法⑥
M⑦	珪藻石外壁	浮き部(0.25m2以上)	アクリル樹脂全体珪藻石樹脂注入工法⑦

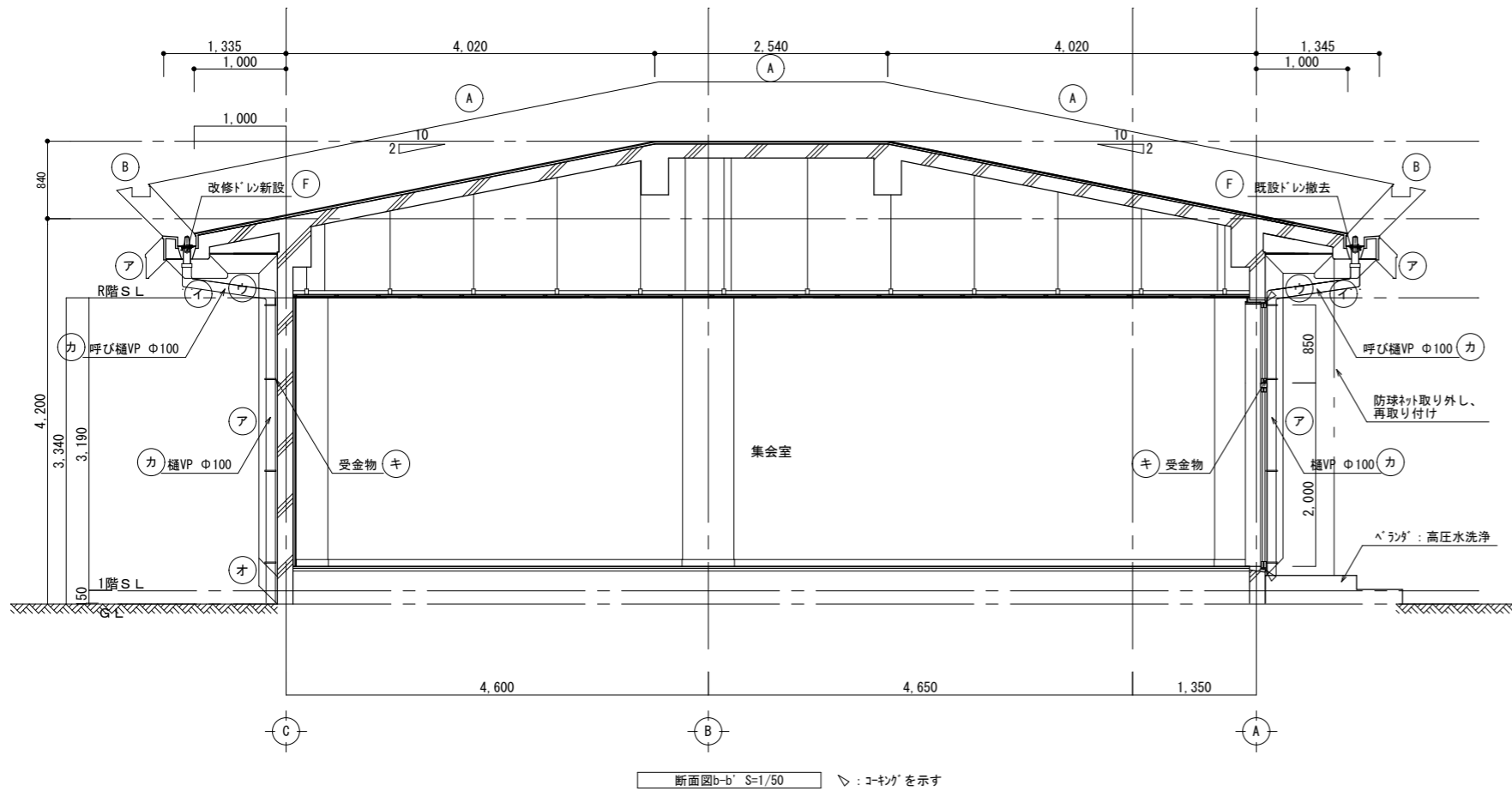
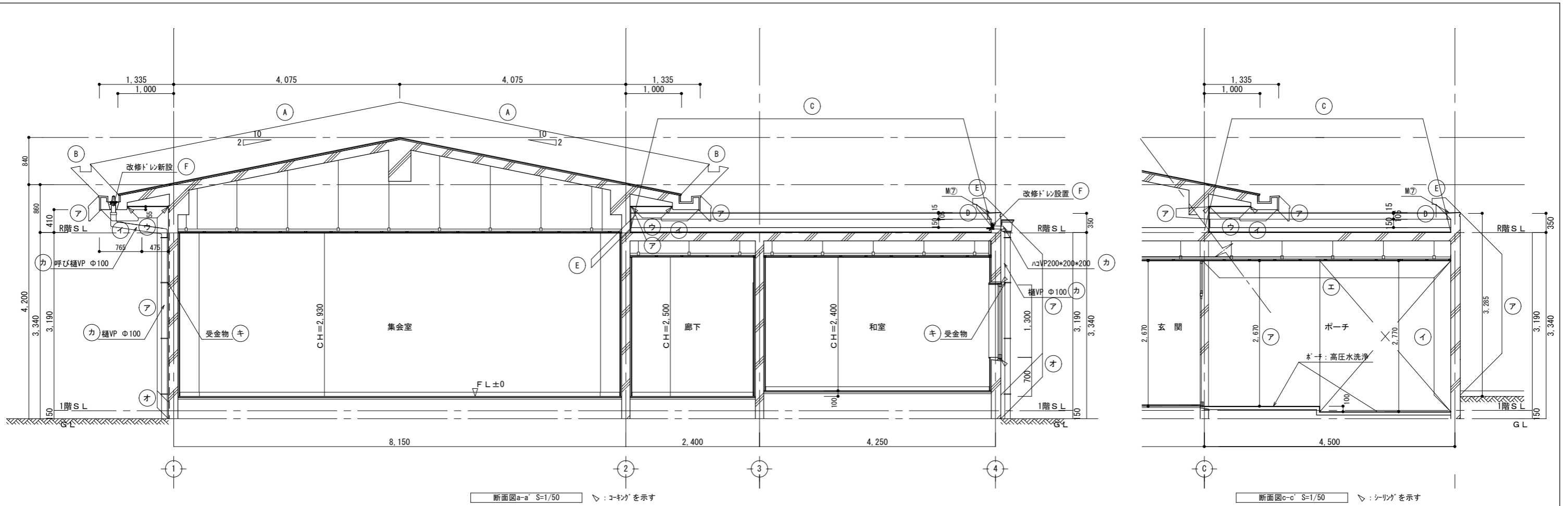
補修仕上がり表



△: シーリングを示す

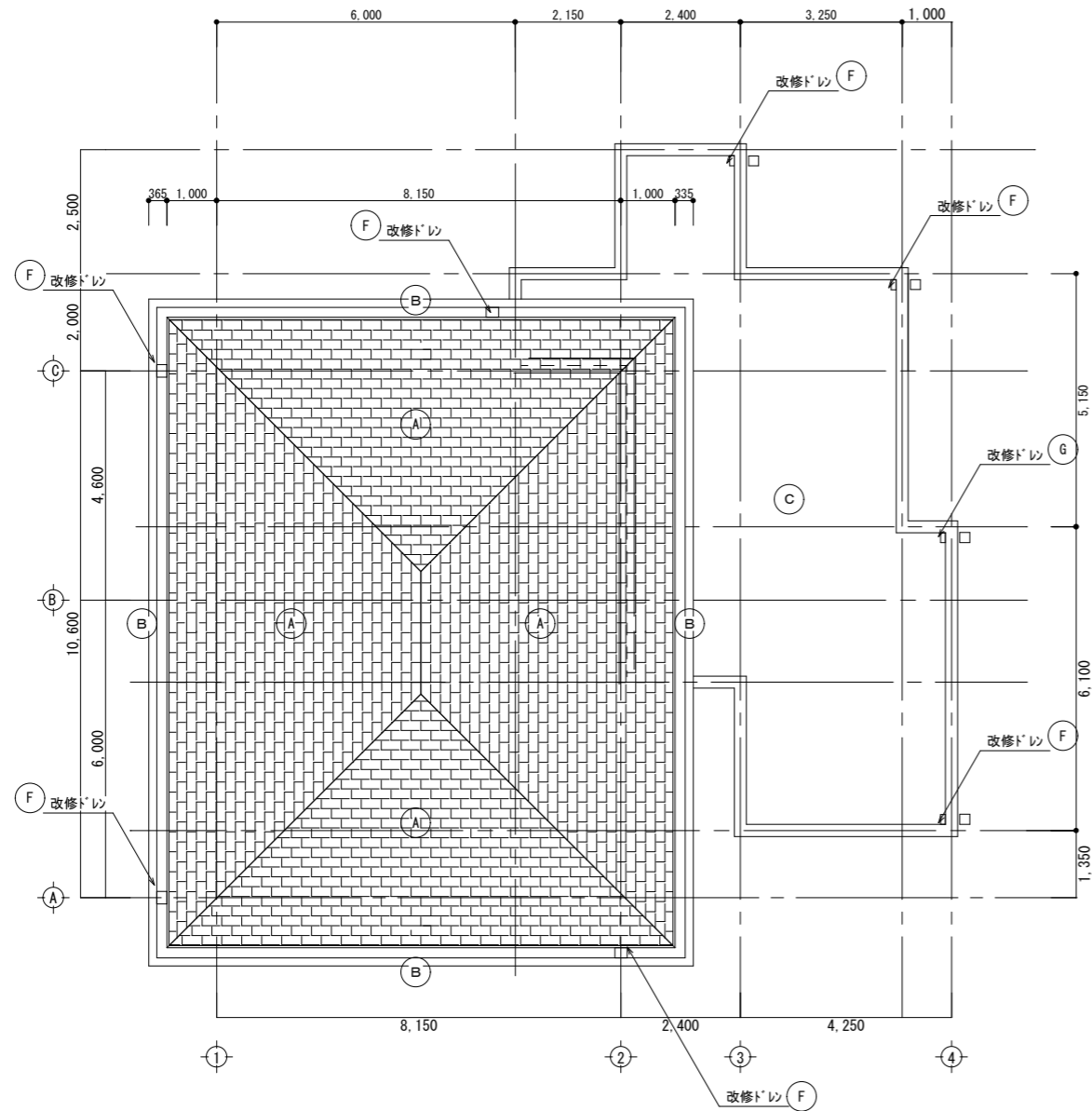
記号	部位	現状	工事内容
ア	外壁	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、防水形複層塗材E吹付
イ	外壁(ポーチ内)、軒天(コンクリート)	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、外装薄塗材E吹付
ウ	軒天(ケイ化板)	V.P	下地調整、E.P塗り
エ	ホール天井	木骨天井材	下地調整、WP塗り
オ	巾木	モルタル押え	高圧水洗浄、外装改修工法
カ	軒樋・堅樋・胴気抜・排水管(塩化ビニル)	V.P塗	塩ビ面下地処理の上、D.P塗り
キ	同上受け・掴み金物、外部金属部(建具・胴気抜)	S.O.P塗	3種ケレンの上、下地処理、錆止め、S.O.P塗
ク	窓台	外装薄塗材E	サグ-工法、必要に応じて外壁改修工法を行い、下地調整、塗膜防水X-2
A	勾配屋根一般部	既設屋根シングル葺き(シリコン塗料) 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
B	勾配樋部	モルタル押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
C	陸屋根一般部	既設アスファルト防水 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
D	陸屋根パラペット立上部	既設アスファルト防水 撤去	モルタル下地調整の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(密着工法) S-F2
E	陸屋根パラペット	モルタル押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
F	ドレン	既設ドレン 撤去	改修ドレン 新設
C②	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカット材充填工法②
C③	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
C D④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(深い欠損30mm超)	充填工法④ 珪系樹脂モルタル+ケイ砂
C S④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(浅い欠損30mm以下)	充填工法④ 珪系樹脂モルタル
M①	モルタル外壁	ひび割れ部(0.2mm以上1.0mm以下)	樹脂注入工法①
M②	モルタル外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカット材充填工法②
M③	モルタル外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
M④	モルタル外壁	欠損部(0.25m ² 未満)	充填工法④ 珪系樹脂モルタル
M⑥	モルタル外壁	浮き部(0.25m ² 未満)	アンカボンド部分珪系樹脂注入工法⑥
M⑦	モルタル外壁	浮き部(0.25m ² 以上)	アンカボンド全体珪系樹脂注入工法⑦

補修仕上げ表

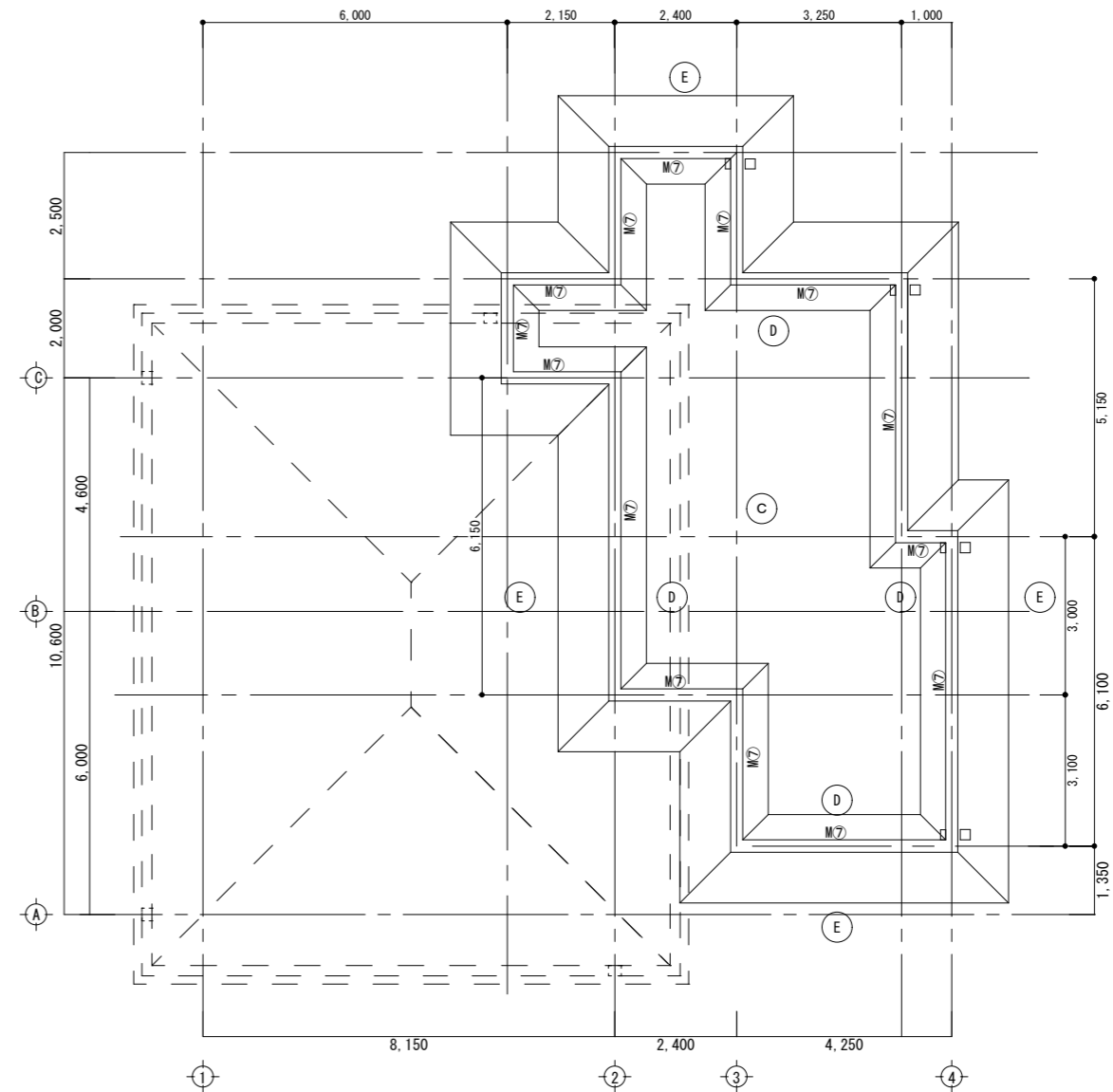


記号	部位	現状	工事内容
ア	外壁	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、防水形複層塗材E吹付
イ	外壁(軒内)、軒天(コンクリート)	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、外装薄塗材材E吹付
ウ	軒天(ケイカル板)	VP	下地調整、EP塗り
エ	ホール天井	木質天井材	下地調整、VP塗り
オ	巾木	杉材	高圧水洗浄、外装改修工法
カ	軒柱・縦柱・胴気抜・排水管(塩化ビニル)	VP塗	塩ビ面下地処理の上、DP塗り
キ	同上受け・組み金物、外部金属部(建具・胴気抜)	SOP塗	3種ケレンCの上、下地処理、錆止め、SOP塗
ク	窓台	外装薄塗材E	サグ-工法、必要に応じて外壁改修工法を行い、下地調整、塗膜防水X-2
A	勾配屋根一般部	既設屋根シingle葺き(シリコン塗料)	既設下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
B	勾配屋根一部	杉材	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
C	陸屋根一般部	既設アクリルシート防水 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
D	陸屋根パレット立上部	既設アクリルシート防水 撤去	杉材下地調整の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(密着工法) S-F2
E	陸屋根パレット	杉材	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
F	ドレ	既設ドレ 撤去	改修ドレ 新設
C②	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカット材充填工法②
C③	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
C④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(深い欠損30mm超)	充填工法④ 1:1セメントモルタル
C⑤	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(浅い欠損30mm以下)	充填工法④ 1:1セメントモルタル
M①	珪藻土外壁	ひび割れ部(0.2mm以上1.0mm以下)	下地調整の上、珪藻土注入工法①
M②	珪藻土外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカット材充填工法②
M③	珪藻土外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
M④	珪藻土外壁	欠損部(0.25m2未満)	充填工法④ 1:1セメントモルタル
M⑤	珪藻土外壁	浮き部(0.25m2未満)	アクリル樹脂部分球珪藻土注入工法⑥
M⑥	珪藻土外壁	浮き部(0.25m2以上)	アクリル樹脂全体球珪藻土注入工法⑦

補修仕上表



屋根伏せ図 (勾配屋根) S=1/100

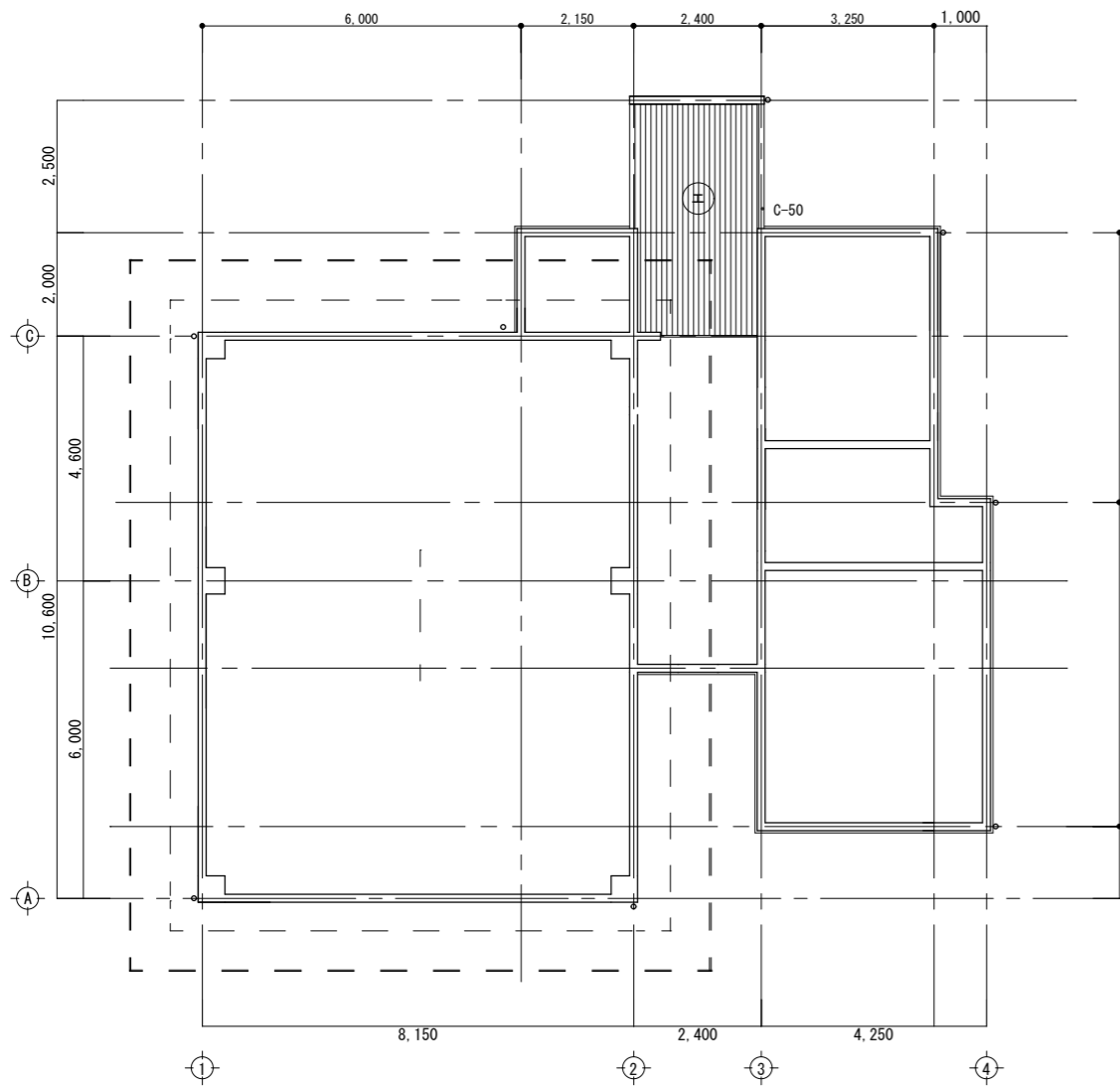


屋根伏せ図 (陸屋根) S=1/100

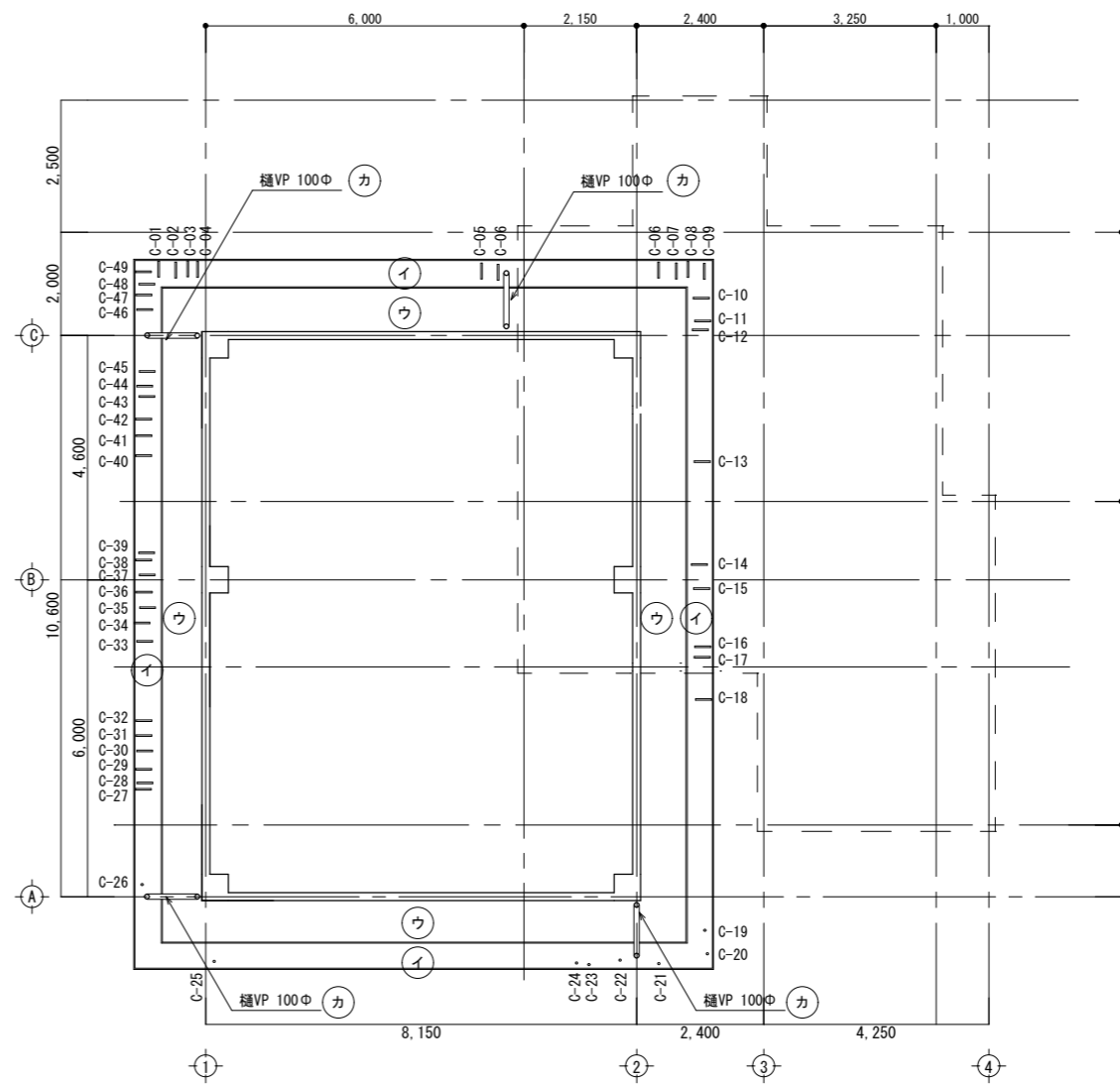
パネル外部は全て浮きあり (M7)

記号	部位	現状	工事内容
ア	外壁	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、防水形複層塗材E吹付
イ	外壁 (床下内)、軒天 (コンクリート)	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、外装薄塗材E吹付
ウ	軒天 (ケラ板)	VP	下地調整、EP塗り
エ	ホール天井	木質天井材	下地調整、WP塗り
オ	巾木	モルタル押え	高圧水洗浄、外装改修工法
カ	軒樋・壁樋・胴気抜・排水管 (塩化ビニル)	VP塗	塩ビ面下地処理の上、DP塗り
キ	同上受け・掴み金物、外部金属部 (建具・胴気抜)	SOP塗	3種ケラCの上、下地処理、錆止め、SOP塗
ク	窓台	外装薄塗材E	サグ-工法、必要に応じて外壁改修工法を行い、下地調整、塗膜防水X-2
A	勾配屋根一般部	既設7ス7アルシート防水 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2
B	勾配樋部	モルタル押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
C	陸屋根一般部	既設7ス7アルシート防水 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2
D	陸屋根パネル立上部	既設7ス7アルシート防水 撤去	モルタル下地調整の上、塩ビシート=1.5mm防水貼 (密着工法) S-F2
E	陸屋根パネル	モルタル押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
F	ドレン	既設ドレン 撤去	改修ドレン 新設
C②	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部 (1.0mmを超える)	Uカット材充填工法②
C③	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部 (0.2mm以下)	シール工法③
C D④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部 (深い欠損30mm超)	充填工法④ 1 杉系樹脂モルタル+砂
C S④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部 (浅い欠損30mm以下)	充填工法④ 2 リアセメントモルタル
M①	モルタル塗外壁	ひび割れ部 (0.2mm以上1.0mm以下)	樹脂注入工法①
M②	モルタル塗外壁	ひび割れ部 (1.0mmを超える)	Uカット材充填工法②
M③	モルタル塗外壁	ひび割れ部 (0.2mm以下)	シール工法③
M④	モルタル塗外壁	欠損部 (0.25m2未満)	充填工法④ 2 リアセメントモルタル
M⑥	モルタル塗外壁	浮き部 (0.25m2未満)	アクリル樹脂部分工法⑥ 杉樹脂注入工法⑥
M⑦	モルタル塗外壁	浮き部 (0.25m2以上)	アクリル樹脂全体工法⑦ 杉樹脂注入工法⑦

補修仕上げ表



天井伏せ図 S=1/100

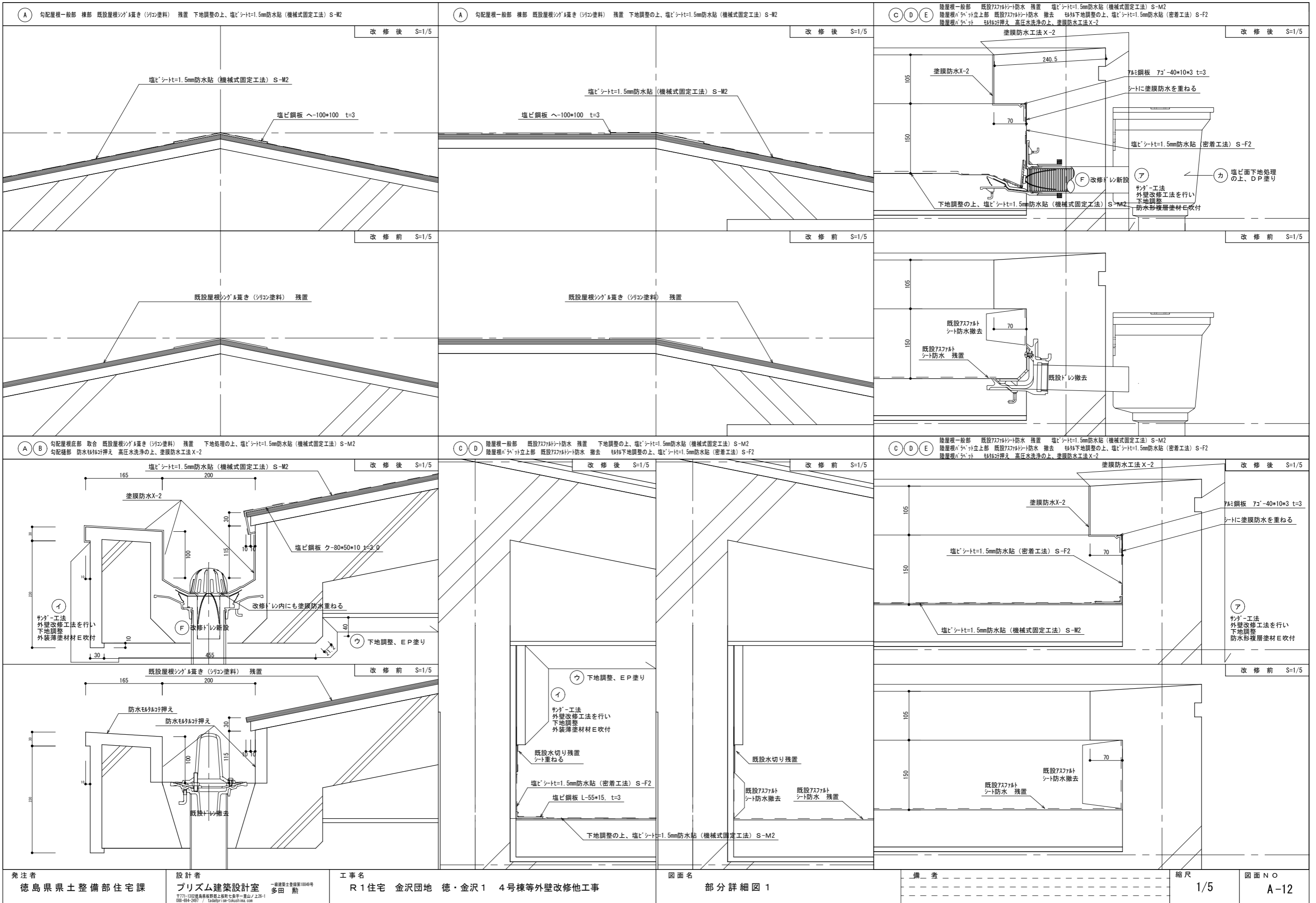


天井伏せ図 S=1/100

記号	現状	寸法
C-01	C D④	100×400
C-02	C D④	100×400
C-03	C D④	100×400
C-04	C D④	100×400
C-05	C D④	100×400
C-06	C D④	100×400
C-07	C D④	100×400
C-08	C D④	100×400
C-09	C D④	100×400
C-10	C D④	100×400
C-11	C D④	100×400
C-12	C D④	100×400
C-13	C D④	100×400
C-14	C D④	100×400
C-15	C D④	100×400
C-16	C D④	100×400
C-17	C D④	100×400
C-18	C D④	100×400
C-19	C D④	100×100
C-20	C D④	100×100
C-21	C D④	100×100
C-22	C D④	100×100
C-23	C D④	100×100
C-24	C D④	100×100
C-25	C D④	100×100
C-26	C D④	100×100
C-27	C D④	100×400
C-28	C D④	100×400
C-29	C D④	100×400
C-30	C D④	100×400
C-31	C D④	100×400
C-32	C D④	100×400
C-33	C D④	100×400
C-34	C D④	100×400
C-35	C D④	100×400
C-36	C D④	100×400
C-37	C D④	100×400
C-38	C D④	100×400
C-39	C D④	100×400
C-40	C D④	100×400
C-41	C D④	100×400
C-42	C D④	100×400
C-43	C D④	100×400
C-44	C D④	100×400
C-45	C D④	100×400
C-46	C D④	100×400
C-47	C D④	100×400
C-48	C D④	100×400
C-49	C D④	100×400
C-50	C D④	100×100

記号	部位	現状	工事内容
ア	外壁	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、防水形複層塗材E吹付
イ	外壁(軒下内)、軒天(コンクリート)	外装薄塗材E	サグ-工法、外壁改修工法を行い、下地調整、外装薄塗材E吹付
ウ	軒天(ケレン板)	VP	下地調整、EP塗り
エ	ホール天井	木質天井材	下地調整、W/P塗り
オ	巾木	珪藻石押え	高圧水洗浄、外装改修工法
カ	軒樋・堅樋・胴気抜・排水管(塩化ビニル)	VP塗	塩ビ面下地処理の上、DP塗り
キ	同上受け・握み金物、外部金属部(建具・胴気抜)	SOP塗	3種ケレンの上、下地処理、錆止め、SOP塗
ク	窓台	外装薄塗材E	サグ-工法、必要に応じて外壁改修工法を行い、下地調整、塗膜防水X-2
A	勾配屋根一般部	既設アスファルト防水 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
B	勾配樋部	珪藻石押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
C	陸屋根一般部	既設アスファルト防水 残置	下地処理の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(機械式固定工法) S-M2
D	陸屋根パナソニック立上部	既設アスファルト防水 撤去	珪藻石下地調整の上、塩ビシート=1.5mm防水貼(密着工法) S-F2
E	陸屋根パナソニック	珪藻石押え	高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2
F	ドレン	既設ドレン 撤去	改修ドレン 新設
C②	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカドシール材充填工法②
C③	コンクリート打ち放し外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
C D④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(深い欠損30mm超)	充填工法④ E* 杉系樹脂珪藻石+ケイ砂
C S④	コンクリート打ち放し外壁	鉄筋露出部(浅い欠損30mm以下)	充填工法④ E* リアセメント珪藻石
M①	珪藻石外壁	ひび割れ部(0.2mm以上1.0mm以下)	樹脂注入工法①
M②	珪藻石外壁	ひび割れ部(1.0mmを超える)	Uカドシール材充填工法②
M③	珪藻石外壁	ひび割れ部(0.2mm以下)	シール工法③
M④	珪藻石外壁	欠損部(0.25m2未満)	充填工法④ E* リアセメント珪藻石
M⑤	珪藻石外壁	浮き部(0.25m2未満)	アカーベニング部分E* 杉樹脂注入工法⑥
M⑦	珪藻石外壁	浮き部(0.25m2以上)	アカーベニング全体E* 杉樹脂注入工法⑦

補修仕上り表



① 勾配屋根一般部 棟部 既設屋根シingle葺き (シリコン塗料) 残置 下地調整の上、塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2

① 勾配屋根一般部 棟部 既設屋根シingle葺き (シリコン塗料) 残置 下地調整の上、塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2

③ ④ ⑤ 陸屋根一般部 既設777防水 残置 塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2
陸屋根パナソニック立上部 既設777防水 撤去 砂利下地調整の上、塩ビシートt=1.5mm防水貼 (密着工法) S-F2
陸屋根パナソニック 防水モルタル押え 高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2

改修後 S=1/5

改修後 S=1/5

改修後 S=1/5

改修前 S=1/5

改修前 S=1/5

改修前 S=1/5

① ② 勾配屋根底部 取合 既設屋根シingle葺き (シリコン塗料) 残置 下地調整の上、塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2
勾配屋根部 防水モルタル押え 高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2

③ ④ 陸屋根一般部 既設777防水 残置 下地調整の上、塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2
陸屋根パナソニック立上部 既設777防水 撤去 砂利下地調整の上、塩ビシートt=1.5mm防水貼 (密着工法) S-F2

③ ④ ⑤ 陸屋根一般部 既設777防水 残置 塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2
陸屋根パナソニック立上部 既設777防水 撤去 砂利下地調整の上、塩ビシートt=1.5mm防水貼 (密着工法) S-F2
陸屋根パナソニック 防水モルタル押え 高圧水洗浄の上、塗膜防水工法X-2

改修後 S=1/5

改修後 S=1/5

改修前 S=1/5

改修後 S=1/5

改修前 S=1/5

改修前 S=1/5

④ 下地調整、EP塗り

① サグー工法 外壁改修工法を行い 下地調整 外装薄塗材E吹付

既設水切り残置 シート重ねる

塩ビシートt=1.5mm防水貼 (密着工法) S-F2

塩ビ鋼板 L-55*15, t=3

下地調整の上、塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2

既設水切り残置

既設777防水 撤去

既設777防水 残置

既設777防水 撤去

既設777防水 残置

① サグー工法 外壁改修工法を行い 下地調整 防水形複層塗材E吹付

塗膜防水工法X-2

塩ビ鋼板 70'-40*10*3 t=3

シートに塗膜防水を重ねる

塩ビシートt=1.5mm防水貼 (密着工法) S-F2

塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2

塗膜防水工法X-2

塩ビ鋼板 70'-40*10*3 t=3

シートに塗膜防水を重ねる

塩ビシートt=1.5mm防水貼 (密着工法) S-F2

塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2

塗膜防水工法X-2

塩ビ鋼板 70'-40*10*3 t=3

シートに塗膜防水を重ねる

塩ビシートt=1.5mm防水貼 (密着工法) S-F2

塩ビシートt=1.5mm防水貼 (機械式固定工法) S-M2

塗膜防水工法X-2

